

<2021年度>

第5回理事会議案書

2022年 1月 14日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

2021年度 第5回理事会 議事次第

一般社団法人 全国 鐵 構 工 業 協 会

場 所： 鉄鋼会館 802 号室

日 時： 2022 年 1 月 14 日 (金)

12:00~14:30

1. 開会の辞

2. 定足数確認報告 (定款第 36 条)

3. 会長挨拶

4. 前回理事会議事録の確認

5. 審議事項

資 料

第 1 号議案 鉄骨技術審議会委員の新任委員選任について ----- [理 21-5-議 1] <p2-4>

6. 報告事項

(1) 品質管理体制の維持と不正防止策について ----- [理 21-5-報 1] <p7-10>

(2) 指定塗料の価格改定について ----- [理 21-5-報 2] <p11-14>

(3) 青年部会ブロック長との意見交換実施報告 ----- [理 21-5-報 3] <p15-18>

(4) 国際ウェルディングショーへの出展準備について ----- [理 21-5-報 4] <p19>

(5) 委員会等活動状況報告

①ホームページ改造WG ----- [理 21-5-報 5] ① <p21-25>

②鉄骨材料入手難対策WG ----- [理 21-5-報 5] ② <p27-28>

(6) その他

7. その他の定例報告事項

(1) 構成員登録状況 ----- [理 21-5-他 1] <p30-34>

(2) 着工面積と推計鉄骨需要量 ----- [理 21-5-他 2] <p35>

(3) 主要会議日程 ----- [理 21-5-他 3] <p36>

(4) 支部報告 ----- [理 21-5-他 4] <p37-54>

(5) その他 ・次回理事会開催要領

8. 閉会の辞

以上

第1号議案 鉄骨技術審議会委員の新任委員選任について

鉄骨技術審議会の委員に関し、2022年3月末日をもって5名の委員が退任することにもない、その後任として議案書[理 21-5-議 1] (p3)の6名をあらたに委員に選任することについて、ご審議のうえ承認いただきたい。

第1号議案

2022年 1月 14日

鉄骨技術審議会委員の新任委員選任について

○ 新任委員候補者

鉄骨技術審議会規定(内規)第2項[委員の任期等]により下表の6名を委員に選任いたしたい。(2022年4月1日付)

氏名	役職	年齢	備考
河野 昭彦	九州大学 名誉教授	70	倫理委員長
裏垣 博	高知大学 名誉教授	70	超音波試験委員長
津田 恵吾	北九州大学 名誉教授	69	九州評価委員長
田川 泰久	元横浜国立大学 教授	68	関東評価委員
山田 丈富	千葉工業大学 名誉教授	66	製品試験委員長
多賀 謙蔵	神戸大学 教授	65	管理技術者試験委員長

※ 年齢・役職は2021年度末時点

以上

〔参考1〕 退任委員

鉄骨技術審議会規定(内規)第3項[委員の任期等]により2022年3月末日をもって以下の5名の委員の委嘱を解くこととする。

氏名	役職	年齢	備考
青木 博文	横浜国立大学 名誉教授	81	
三井 宜之	熊本大学 名誉教授	81	
橋本 篤秀	千葉工業大学 名誉教授	81	
森田 耕次	千葉大学 名誉教授	80	
橋本 健一	北海道工業大学 名誉教授	80	

〔参考2〕 再任委員

氏名	役職	年齢	備考
小野 徹郎	名古屋工業大学 名誉教授	77	
甲津 功夫	大阪大学 名誉教授	77	
田淵 基嗣	神戸大学 名誉教授	75	
松尾 彰	広島大学 名誉教授	74	

以上

〔参考3〕鉄骨技術審議会 規約（内規）

平成 25 年 7 月 11 日制定
一般社団法人全国鐵構工業協会

「鉄骨技術審議会」について（内規）

1. 審議会の位置づけ及び機能

本審議会は、会長の諮問機関（定款に基づく委員会ではない。）とし、会長の諮問に対して答申し、また意見を述べる。

2. 委員の委嘱

本審議会の委員は、当協会に多大な功労のあった者のうちから、会長が選任し、理事会の承認を得て、会長が委嘱する。

3. 委員の任期等

委員の任期は、2年間とし、再任を妨げない。

ただし、委員の在任年齢は、原則として、80歳の誕生日の当該年度末までとする。

4. 会議開催

本審議会は、会長が必要と認めた時に召集し開催する。

5. 報酬

無報酬とする。当協会旅費規程に基づく旅費を支給する。

6. 庶務

本審議会の庶務は、技術部が担当する。

以上

報 告 事 項

2022 年 1 月 14 日

全国鐵構工業協会構成員各位

一般社団法人全国鐵構工業協会
品質管理委員会

大臣認定取得工場の技術者資格に係る不正事案と今後の対応について

各位におかれましては、品質管理について常日頃ご尽力いただいているとは存じますが、昨年、当協会構成員の大臣認定取得工場におきまして技術者資格に係る不正事案が発生しました。

当協会としては誠に遺憾であり、再発防止に向けて対策を講じることといたしますので、何卒ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

I. 経緯

- 2021 年 8 月：当協会構成員の大臣認定取得工場の溶接管理技術者資格者証の不正改ざんが発覚
- 11 月：当該工場の性能評価及び大臣認定取消し
- 12 月：全構協の品質管理委員会にて対応及び再発防止策を協議

II. 今後の対応

1. ホームページでの公表

会員専用HPにて事案の内容・経緯を紹介し、当協会として当該構成員及び組合に対し厳重注意を行ったことを報告する。

構成員に対して技術者・技能者資格の有効期限について再点検するように注意喚起を行う。

2. 工場認定取得時の資格有効期限の再確認

資格取得者の有効期限の一括管理を行うために、資格取得者の名簿を作成し、品質管理状況の確認体制を整備するように構成員に対して要請する。

(資格取得者の名簿の一例として当協会より技術者・技能者名簿を紹介予定)

3. 品質管理体制の維持状況の確認

認定3年目の国交大臣認定工場に対して2019年度から実施している品質管理体制の維持状況の確認を引き続き実施する。

以 上

<全構協ホームページトピックス記載内容[案]>

品質管理体制の強化に向けて
～技術者資格の管理厳格化について～

昨年、当協会構成員の大臣認定取得工場において技術者資格に係る不正が発覚し、性能評価取消し及び国土交通省の認定取消しとなる事案が発生しました。

鉄骨製作工場においては、品質管理体制のもとで構造物の適正な品質を確保することは責務であり、その遂行にあたっては、技術者・技能者資格の適正な管理が欠かせないにもかかわらず、このような事態となったことは当協会としては誠に遺憾であります。

鉄骨業界全体の品質への信頼を確保するため、あらためて品質管理体制強化に向けて構成員の皆様には以下の事項の実施をお願いいたします。

- (1) 上記の不正事案は、社内の技能・技術資格者の取得状況、有効期限等を一元的に管理している担当者が、有効期限満了に伴う更新手続きを失念していたことを隠すために個人の判断で資格者証を改ざんしたことによるものであることをふまえ、技能・技術者資格取得、有効期限・更新状況の把握と管理に関し、一覧表などで整理するとともに複数の担当者・管理者が定期的に確認するなど、管理の徹底を図ること。
- (2) 大臣認定工場については、認定のための審査時の品質管理体制に変更があった場合には、速やかに審査機関に届け出ること。
- (3) 2019 年度から実施している大臣認定工場のうち審査 3 年目の事業所の品質管理体制の状況調査を今後も実施しますので、これに協力すること。

<全構協会員ホームページトピックス記載内容[案]>

- ① 大臣認定取得工場の技術者資格に係る不正事案について（理事長会資料）
- ② 技術者・技能者名簿一覧例 1（WORD データ）
- ③ 資格管理表例 2（EXCEL データ）

2021年度技術者管理表

製作管理技術者名簿

No.	氏名 (※は検査部門)	登録番号		資格の有効年月日							○印 工作 作成 担当者
		一級建築士	建築施工 管理技士1級	鉄骨製作管 理技術者 1級	WES 溶接 管理技術者 特級	WES 溶接 管理技術者 1級	建築鉄骨 製品検査 技術者	建築鉄骨 超音波検査 技術者	NDI UT レベル3	NDI UT レベル2	
	合計人数										

溶接技能者名簿

No.	技能者 氏名	資格の有効年月日							
		JIS 半自動溶接				AW 検定工場溶接			
		SA-3F	SN-3F	SA-3H	SN-3H	SA-3V	SN-3V	鋼製エンドタブ	代替エンドタブ
	合計人数								

2022/1/12 現在

90	日以内更新
2022	年度迄に更新

氏名	登録番号	登録日	有効期限	現状残日数	次年度初残日数
			2022/1/23	11	-433
			2022/3/22	69	-375
			2022/4/21	99	-345
			2022/3/30	77	-367
			2023/3/31	443	-1
			2023/4/1	444	0
			2024/4/2	811	367
			2025/4/3	1177	733
			2026/4/4	1543	1099
			2026/4/5	1544	1100
			2026/4/6	1545	1101
			2026/4/7	1546	1102
			2026/4/8	1547	1103
			2026/4/9	1548	1104
			2026/4/10	1549	1105
			2026/4/11	1550	1106

2021 年 12 月

一般社団法人 全国鐵構工業協会 御中

大日本塗料株式会社

製品価格改定に関するお願い

拝啓 貴社におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社製品をご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

2021 年 7 月 1 日よりエポキシ樹脂を中心とした世界的な原料価格上昇に伴い、弊社は原料上昇幅の大きな製品に限定し、価格改定のお願いを実施させて頂きました。

しかしながら、原料価格の上昇はナフサ価格の急上昇や世界的な経済回復基調による需要増に供給が追いつかない状況も重なり、一部の原料にとどまることなく幅広い原料に及ぶ事態となっております。

この様な状況を受け、弊社ではコストアップを吸収すべく引き続き経費削減や生産性の向上、効率化を推し進めておりますが、原料価格の急騰は自助努力による吸収が難しい状況にあり、誠に不本意ではございますが、さらなる製品の価格改定に踏み切らざるを得ないとの判断に至りました。

つきましては、下記の通り価格改定を実施させていただきたく、何卒事情をご賢察のうえ、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今後も品質向上、サービスの強化に努めて参りますので、弊社製品のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 対象と改定幅

① 塗料	10～20%
② シンナー	20～30%
③ 硬化剤	15～25%

2. 実施時期

2022年1月5日出荷分より

以上

2021 年 12 月 20 日

全構協 正会員 各位

一般社団法人全国鐵構工業協会
総務部

2021 年度下期の指定塗料価格（緊急価格改定）について

平素は共済事業の推進にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2021 年度下期指定塗料価格(2021 年 10 月～2022 年 3 月納入分 6 ヶ月)については、既に大日本塗料と合意し推進して頂いておりますが、世界的な原材料（ナフサ）価格の急騰により大日本塗料から緊急の塗料価格改定の要請があり交渉した結果、以下の通り決定致しましたのでご連絡申し上げます。

今後とも、共済事業により一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 指定塗料価格

既に推進している 2021 年度下期価格から 10%価格改定（値上げ）とする。

※価格等の詳細は、別紙価格表を参照願います。

2. 実施期間

2022 年 1 月 5 日（出荷分）～2022 年 3 月 31 日（納入分）（3 ヶ月間）

3. その他

2022 年度上期（2022 年 4 月 1 日～9 月 30 日納入分）の価格については、今後の状況をふまえて、別途協議することとしました。

以上

（追記）

別紙価格表につきましては、各県正会員事務局および構成員等の関係者限りとし、取扱いには十分ご配慮頂きますようお願い申し上げます。

2022年1月5日

正会員 各位

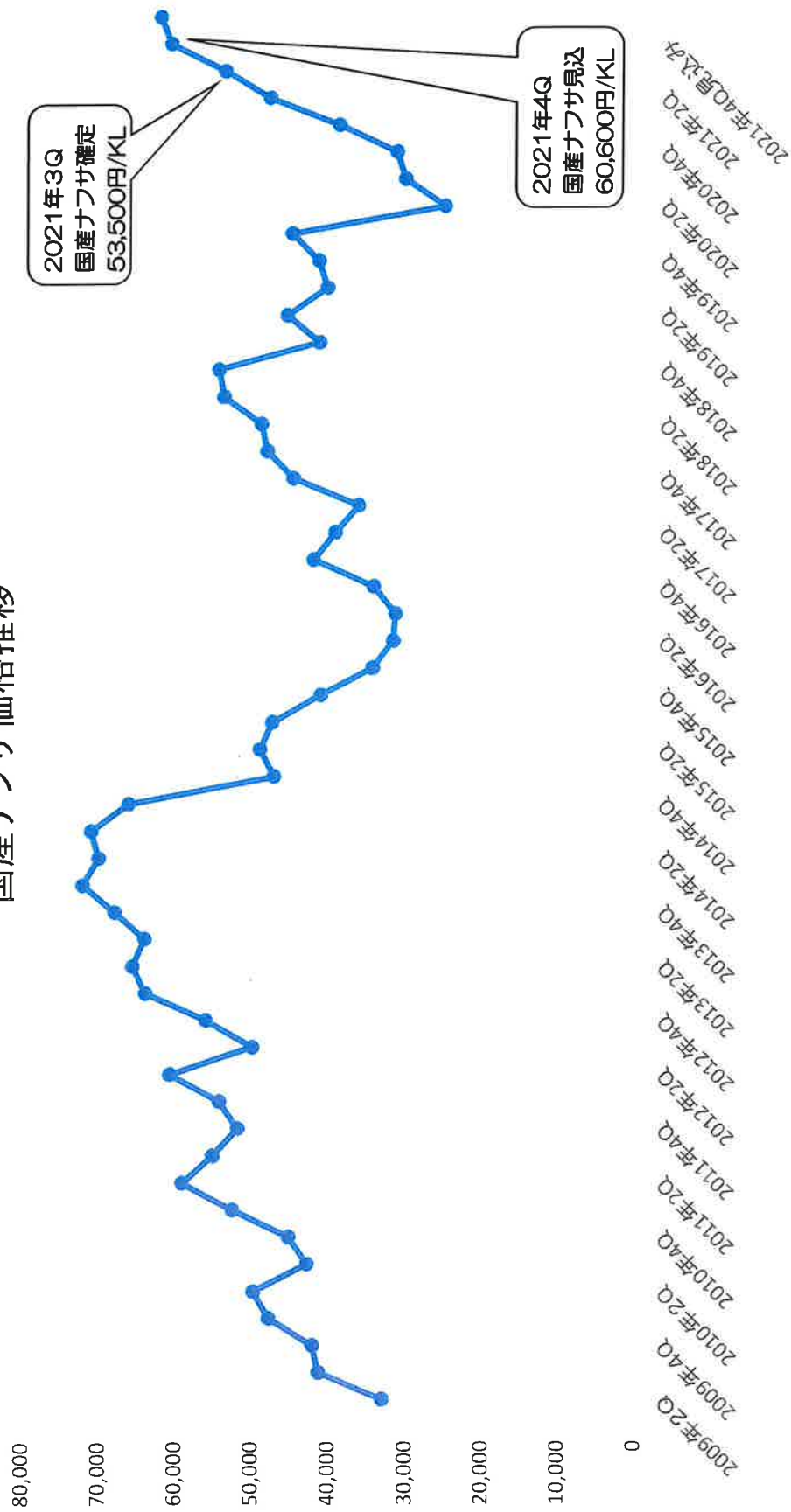
2021年度下期(2022年1月～3月)指定商品特別協力価格表

規格・他	商 品 名	色 名	容 量	協定価格※ (協力価格) 2021年10月1日	改定価格 2022年1月1日	協定価格 からの差額	備考
JIS-K5621-2種[☆4F]	TDプライマー JIS 4F	赤さび色	20K	3,200	3,520	320	
		グレー		4,000	4,400	400	
		HKグレー		4,000	4,400	400	
JIS K 5674 2種	水性グリーンボーセイ速乾	赤さび色	16K	9,000	9,900	900	
		グレー		9,300	10,230	930	
JIS-K5674-1種[☆4F]	グリーンズボイド 速乾下塗	赤さび色	20K	9,000	9,900	900	
		さび色		9,000	9,900	900	
		グレー		9,000	9,900	900	
JIS-K5674-1種[☆4F]	グリーンボーセイ 速乾	白	20K	7,050	7,750	700	
		赤さび色		5,650	6,210	560	
		グレー		6,250	6,870	620	
		ダークグレー		6,250	6,870	620	
		HKグレー		6,350	6,980	630	
		N-4グレー		6,350	6,980	630	
		MKダークグレー		6,350	6,980	630	
		淡彩色		7,550	8,300	750	
JIS-K5674-1種[☆4F]	グリーンボーセイ 超速乾	赤さび色	20K	6,050	6,650	600	
		グレー		6,750	7,420	670	
		ダークグレー		6,750	7,420	670	
		MKダークグレー		6,750	7,420	670	
現場補修用スプレー	JSFA スプレー	赤さび色		800	880	80	
JASS18M-109[☆4F]	エポオールワイド	赤さび色	18K	9,400	10,340	940	
		グレー		9,400	10,340	940	
		淡彩色		10,400	11,440	1,040	
JASS18M-109[☆4F]	エポオールUNI	赤さび色	16K	8,800	9,680	880	
		グレー		8,800	9,680	880	
		白		9,100	10,010	910	
		淡彩色		9,900	10,890	990	
社内規格[☆4F]	エポオールIC-S	淡彩色	20K	12,000	13,200	1,200	

【お願い事項】

- ・本価格表の取り扱いについては2022年1月5日～2022年3月31日までと致します。
- ・運賃については2021年10月より「350円～500円の統一運賃」で対応させて頂きます。
- ・エポオールICについては、販売店から各県事務局への手数料については対象除外品です。

国産ナフサ価格推移



全構協・青年部会 意見交換会 議事次第

(一社)全国鐵構工業協会

場所：鉄 鋼 会 館 802 室

日時：令和 3 年 11 月 16 日(火)

14:30～16:30

1. 全構協 米森会長挨拶

2. 出席者ご紹介

3. 意見交換会

(1) 全構協 事業概況 説明

- ① 喫緊の課題・テーマ、重点事業（WG活動関係等）
- ② 2021年度事業計画、事業実施状況（コロナ禍における事業運営）
- ③ 足下の材料（需給、価格）問題（全構協としての取組み・対応方針・情報共有）

(2) 青年部の活動状況

- ① 青年部のコロナ禍の中での活動状況
- ② 青年部活動を実施して行く上での課題・悩み
- ③ 青年部会から全構協への要請（お願い）

(3) 意見交換

- ① With コロナ、After コロナ環境下における事業継続(BCP)

＊青年部活動継続の取組み(今後に繋がる視点で)

以上

全構協・青年部会 意見交換会 出席者名簿(青年部会)

支部	都道府県	青年部組織/役職	氏名 (出席代表者)	会社名	グレード	役職	出欠	備考
北海道	北海道	北海道ブロック会長	高 田 知 明	北榮興業(株)	H	代表取締役	出	
東北	宮城	東北ブロック副会長	中 辻 淳	正和工業(株)	H	代表取締役	出	
関東	茨城	関東ブロック会長					欠	
北陸	富山	北陸ブロック会長	川 合 徳 和	三鐵工業(株)	M	専務取締役	出	
中部	岐阜	中部ブロック会長	岩 井 康 志	三星工業(株)	H	代表取締役	出	
近畿	奈良	近畿ブロック会長	坂 居 剛	(株)杉本鉄工所	M	部長	出	
中国	山口	中国ブロック会長	西 本 佳 展	(有)西本鉄工建設	M	代表取締役	出	
四国	高知	四国ブロック会長	宮 脇 旭	(株)坂本鉄工	M	代表取締役	出	
九州	鹿児島	九州ブロック会長	三 石 宏 幹	(有)三石建設工業	M	代表取締役	出	

全青会	会 長	池 田 和 隆	池田鉄工(株)	M	代表取締役	出	
-----	-----	---------	---------	---	-------	---	--

全体					出席者数	9	
----	--	--	--	--	------	---	--

支部	①意見交換会の感想	②(当日の内容を踏まえ)全構協との連携活動についての、意見・要望・提言	③(当日の内容を踏まえ)今後の青年部会活動について
北海道	全構協の手掛けている事業について、詳しく説明していただき、非常にわかりやすかったです。また、意見交換の部分に关しては、以前の全国会長会議の時よりも人数が限られた分話すタイミングが多く、報告だけではなく、お互いの思いを受け取り、伝えることができたのではないかと思います。中でも、集団研修についてのお話をさせて頂いた時に会長副会長にいろいろとアドバイスを頂き(企業のリーダーについてのお話はとても興味深かったです)、集まる事が目的なのではなく、主体的に何を学ばなければならないという事を改めて考えて考えなければならぬと感じました。	親会のアドバイスを受けながら、青年部としてどのような事業ができるのかを考え、行動していきたい。事業によっては、親会と共同開催できるものもあるかと思うので、各都道府県、各ブロックの親会とも連携を取りながら提案していければよいのではないかと思います。親会の方からもいままでのように青年部でできる活動やお手伝い等あれば積極的に協力していきたいと思っています。	これから先の青年部活動については、会員数が減っていく中でどのような方法で会員を増やすか、また、現在の二世三世会員(所謂経営者会員)と、一般の幹部職員会員との共存の方法を探っていくながら活動していきたい。親会と青年部の垣根がなくなっているのも事実ではあるけれども、親会と共同開催で行う事業など、青年部としてかかわることのできる事業を企画していきたいと思ひます。また、青年部の魅力、青年部のメリットをどのように考え、そしてどのように青年部会員、また、親会に伝えていけるのかという事をこれから考え、取り組んでいければと思います。(青年部活動のPR、会員拡大に繋げたい。)
東北	約2時間での意見交換会という事もあり、あまり発言する機会もなかったかと思ひましたが、全構協の方々・青年部ともそれなりに発言できたという意味では、良かったと思います。また、コロナだった事もあり、各ブロックの青年部とも情報交換が出来ていなかったが、今回顔を合わせることが出来たという意味でも、開催していただき有難うございました。	引続き、全構協の情報を展開していただければと思います。	ここにきてコロナが落ち着いてきた事もあり、今後は事業及び役員会を対面式で開催したいと思っています。一方、意見交換会にあつたように、不測の事態を踏まえて、リモートなどの活用も、今後検討したいと思っています。
(全 国 実 業 会)	いままです以上、関連な意見交換ができたと感じております。あつたという間の2時間でした。全青会のために、貴重な時間を作っていただき、リーダーシップのことや、全構協が実施しているWGの活動内容を直接説明頂きありがとうございます。	アマダの研修のような、研修事業の復活を要望しておりますが、何を研修したいのかを、全青会として考え、ご提案したいと考えております。案としてしまして、 1. 経営計画作成 2. リーダーシップ 3. 1+2を踏まえたグループディスカッション 4. 11に関係するFAB MOT の4本建てで考えております。 以上 よろしくお願ひいたします。	コロナの感染状況を踏まえて、活動する予定で、ブロック事業には参加する予定で、また、来年度の第31回通信総会は大阪で開催する予定となっておりますが、規模を縮小しての参加で、最小限の人数で総会と、会長会議と実施する予定です。 全構協への来賓の要請は、今回見合わせる方向で考えております。
北陸	私程度の会社規模でこのような晴れがましい会合には、今後を考え合わせても、なかなかない機会でありました。大変ありがたいことと思ひます。特にご説明いただいた鉄骨業界を取り巻く環境と業界が行っている各種活動について知ることが出来てよかったです。	次世代のリーダーシップとは何なのか、「鉄骨ファブリケーター」の経営者として必要と考え方、身に付けなければならぬこと等、同世代の仲間との刺激をまじえた宿泊研修を行った先輩方のお話を伺っておりまして、今の時代に合わせたテーマについて全青会でよく話し合ってみようと思います。	自分達より若い世代の志向等、示唆いただいたお話をよく考慮して今後の青年部活動を考えていきたいと思います。
中部	団塊の世代が順次卒業しており、組合の青年部という組織が足元で急速に弱体化している現状を意見交換会の中で共有できたと思ひます。時間が足らず最後の議題を端折ることになったのは残念でしたが、言いたいことを言えたり、青年部会に対する考え方について米森会長をはじめ2役1同うことができて良かった。今後も意見交換会を継続していただければ幸いです。	予算面で全構協と全青会との係わりがなくなつて久しく、青年部会員の中では全構協との係わりを不要とし、金も口も出してほしくないという意見が年々高まってきました。このような関係は組合や業界にとつて良くないので、そうした人たちに向けて全構協と全青会が親子関係であるというメッセージの発信が必要だと危機感を感じています。 そうした中、講演や講習等何をやりたいかを全青会が全構協に提案すると、予算組の検討をしていただけたという話しは渡りに船だと思ひました。担当はで無いので他人ごとになってしまひますが、早く実現されることを望みます。	県の親会と青年部会と両方に役員として所属している今だからこそ思うのですが、企業・組合・業界にとつての後継者育成(学び)や、困った時に助け合える仲間づくり(横のつながり)の部分で、青年部の役割の大きさを強く感じています。 今後も青年部会活動について、ご指導・鞭撻をよろしくお願ひいたします。

実施後アンケート			
支部	①意見交換会の感想	②(当日の内容を踏まえ)全構協との連携活動についての、意見・要望・提言	③(当日の内容を踏まえ)今後の青年部会活動について
近畿	有意義な意見交換ができたと思います。普段、なかなか会えない方とお会いしてお話できるだけでも大きな意味があると思います。もう少しお時間に余裕があればと感じました。時間が気になり短く終わらせてしまったり、発言しようにか迷いました。止めてしまったということがありました。	とても、相談しやすい連携の取りやすさに関係だと感じました。今後の業界を踏まえて、親会と青年部兼任が多すぎるのは問題かと思いますが。奈良県の青年部は親会青年部の兼任はいまいません。難しい部分もありますが、私はこの方が良く考えています。失敗して、親会に指導して頂き成長へと繋がります。これが青年部かと。ちなみに奈良県は青年部会員14名(組合活動に参加されるのは10名ほどですが)社長1名、次期社長1名(親族)その他は従業員で編成されています。色々と難しい問題を抱えています。(←当日発言しように迷った内容です)	もともと、青年部活動を活発にし、勉強し、もともと、全構協とコミュニケーションをとり、更なる業界発展もさせたい。
中国	全構協の事業を担当理事の方より詳しく説明して頂き資料以外の補足内容や考え方も聞いて大変良かったです。また、青年部会ブロック長全員に発言機会があり全構協理事の皆さんからご意見やアドバイスを聞けていい意見交換会でした。対面活動が難しいところ開催して頂きありがとうございます。	全構協との連携活動で全構協だけ青年部だけでは出来ない事をやって頂きたいと思っています。教育事業や情報発信など若い世代に向けて又は若い世代と一緒に連携活動などを期待しています。また、良い関係や良い活動がこのまま続いて業界全体がより良くなってほしいです。	今後の会員数減少や高齢化などを考えるとこれまでと同じ活動は難しくなりそうです。世代での考え方の違いもあり、新し活動も考える必要があるかもしれないと思います。青年部会活動では横の繋がりが出来たり、若者同士で経験を積むことで将来親会で活動しやすくなるなどメリットも大きいので青年部活動は必要だと思います。
四国	全てのアンケートについて青年部側の意見を聞いたうえで、全構協、親会としての意見を聞くことが出来たので貴重な時間でした。当日の議論の中で、各県単位での親会と青年部会の関係が様々に連携している県、そうで無い県があることを知り、県によっては良好な関係で無い所も有ることに驚かされました。	同じ業界内での組織なので、全構協の方々には業界を代表した鋼材の流通の改善等現状行っている活動が続けて頂きたいと思っています。その中で業界内の活性化、情報の共有等に関しては青年部にも協力できることがあると思うので協力していくことが必要なのかと感じました。	既存の後継者や経営に携わる者以外にも、企業同士の互助関係構築に役に立つ、従業員の方たちが参加できる様な、青年部活動自体が興味を引く活動を考えて行っていきたい。
九州	終始和やかな雰囲気で行われて、聞きたいこと、話したいこと全て意見が出て良かったと思います。事前のアンケートで青年部からの意見要望を提出させていただいたことで、資料内にも回答に関する内容があり、分かり易かったです。また、事前に全ての要望書に目を通していたいただいたとの事で十分な内容の意見交換が出来たと感じました。コロナ禍により、開催・集まりが出来なかった空白の時間を感せず意見交換会でした。	意見交換会の中でもありました多くの要望、準備に関することは、既に委員会等で動いていただいているものもあり、感謝いたします。青年部の私たちならではのりモートを活用して出来る事等を進展させていけたらと思います。研修会等で実施する教育の内容について、何を勉強したいのか?、という事に関しても、的を絞って具体的に提案していけたらと思います。	①の感想の内容と重複しますが、お会いできない空白時間を感じさせない、むしろ和やかな会場の雰囲気だったと感じました。青年部と親会の年齢が接近しての事もありますが、今後は青年部同士の情報交換はもろろんの事、親会・全構協の方々にとっても、要望や会話がしやすい環境になっていると思います。まずは、地元青年部から活発な活動をしたいと思っています。

2022年1月14日

2022 国際ウエルディングショーへの出展準備について

I 国際ウエルディングショーの概要

1. 開催日時

2022年7月13日(水)～16日(土) 10時～17時 (最終日16日(土)は16時まで)

2. 開催場所

東京ビッグサイト 東展示棟

3. 主催

一般社団法人日本溶接協会
産報出版株式会社

II 出展予定(案)

1. 出展方針(趣旨)

全構協の活動紹介・宣伝の場とする。

2. 出展内容

- (1)使用ブース: 1小間(約3m×3m)〈申込済〉
- (2)出展物: 全構協等の概要・紹介のパネル・映像 その他

3. 出展検討体制 (仮称 2022 国際ウエルディングショー出展 WG)

- (1)検討事項: ①出展内容の詳細
②出展当日の現場管理・運営体制 その他
- (2)検討メンバー: 高橋委員長(全構協監事(元 全構協副会長))
吉岡委員 (東京鉄構工業協同組合理事長)
池田委員 (全構協青年部会 会長)
その他全構協青年部会 関東の方1名予定
全構協 小貫専務理事
大橋常務理事
平井総務部長
中村総務担当部長

※当日の現場管理運営については、適宜他の方々にも依頼する。

4. 今後のスケジュール

- ・1月14日 :全構協理事会にて出展検討体制等確認、検討開始
- ・4月下旬 :出展物・ブースの内容決定、製作等開始
- ・6月中旬 :出展物製作完了、搬入準備等出展全般の最終確認
- ・7月期間中:現地対応(搬出入、開催期間中)

以上

2022.1.14

ホームページ改造 WG 報告

1. ホームページの仕様

(1) 基本仕様

【付 1】トップページのデザインと【付 2】サイトマップを参照。

(2) 大臣認定工場検索システムの仕様

【付 3】～【付 6】参照。

- ・現状の一覧表に、希望する構成員について年間加工能力等の詳細情報を追加する。
- ・工場の所在地を地図上に表示する機能を追加する。
- ・ホームページ上に構成員が詳細情報を登録する機能を設ける。(ID/PW が必須)

2. ホームページの制作費用

(1) 発注先 (案)

瑞穂印刷株式会社

(2) 発注理由

- ・最近 HP 制作事業に注力しており、官庁や法人関係の HP の実績が増えている。
- ・全構協の会誌や各種資料の編集・印刷を引き受けているので、全構協の活動内容を熟知しており、ホームページの更新にも迅速に対応できる。
- ・基本仕様に関する初回見積で、現状の HP 管理会社よりも低い金額が提示された。

瑞穂印刷：2,675,475 千円⇔インフォクリエイツ：2,904,000 円 (税込み)

(3) 見積金額

費目	内容	金額 (円)
ウェブ制作費	サイト設計、デザイン、コーディング等	2,230,000
プログラム関係費	工場検索、詳細情報登録フォーム、地図表示システム	*2,500,000
	問合せフォーム、会員ページ構築	135,000
小計		4,865,000
進行管理費	(小計の 15%)	729,750
合計		5,594,750
合計 (税込み)		6,154,225

※プログラム関係費 (工場検索等) の説明

- ・現状 HP のプログラムは 20 年以上前のもので、新規 HP 用にはデータベースも含めて作り直す必要があるため、ウェブ制作費と同程度の金額となる。
- ・詳細情報を追加するためには、登録フォーム機能の追加が必須となる。
- ・地図表示システムを付けない場合は 2,300 千円となり、200 千円安くなるだけなので、費用対効果を考えると付けることとしたい。

(4) 納期

2022 年 3 月末に新 HP に切替え予定。

(5) 費用の扱い

今年度予算には織込まれていないが、年度内に完成の見込みが立ったため、今年度の費用として実施したい。

【付1】トップページ



全国鉄構工業協会
Japan Steel Fabricators Association

[Home](#)
[全協協会の紹介](#)
[標準規格](#)
[会員の紹介](#)
[会員コーナー](#)

全国鉄構工業協会

Japan Steel Fabricators Association



会員コーナー

経営支援ツール
全協協共済制度
鉄骨技術研究開発助成制度
技術情報
講習会案内
書籍の案内
全協協会報
総会・理事会報告



資格を取ろう

技術者ことにある

- 鉄骨製作管理技術者
- 溶接管理技術者
- 建築鉄骨検査技術者
- 非破壊検査技術者

全 35 種の資格の解説はこちら





一緒に働こう

YouTube チャンネル



動画で学ぶ鉄骨業界



鉄骨業界を詳しく見てみる



新着記事一覧

※タグで分類できます

すべて

一般

会員



2021年11月22日

新型コロナウイルス感染防止対策（交替制在宅勤務体制）継続について



2021年11月22日

2021年 会長年頭の挨拶



2021年11月22日

鉄骨製作工場におけるデジタル化の事例調査について



2021年11月22日

高規格材適合工場リスト（2021年7月14日現在）の更新



大臣認定工場構成員会社の検索



構成員数と鉄骨需要量の推移
建築着工面積と鉄骨推定所要量推移



高規格材鉄骨製作支援制度



関連リンク集

全国鉄構工業協会

個人情報保護方針

サイト利用上の注意

お問い合わせ

アクセス

Copyright©2021 Japan Steel Fabricators Association All Right Reserved.

【付2】サイトマップ

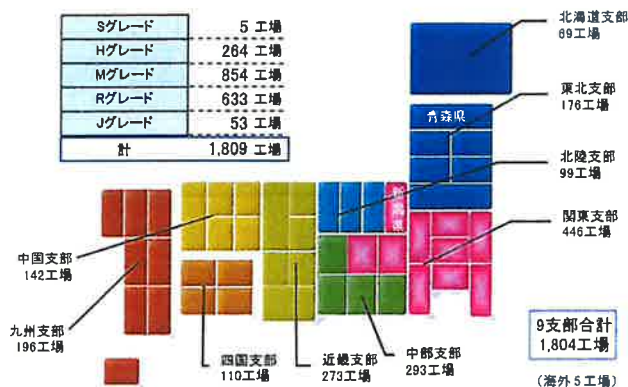
トップページ	グローバルナビ
	写真
	キャッチコピー
	お知らせ
	バナー 鉄骨の世界でともに働こう 鉄骨の資格をとろう 大臣認定工場の検索 関連リンク
お知らせ	
鉄骨の世界でともに働こう	
鉄骨の資格をとろう	
鉄骨関係の資格一覧 主要資格の紹介	
全構協の紹介	
会長挨拶 全構協とは 役員 会員 構成員数と鉄骨需要量の推移 業務・財務資料 定款 財務諸表 事業計画 収支予算書 電子公告 事務所所在地	
事業内容	
技術開発・普及事業 会員共益事業 共済事業 高規格材鉄骨製作支援制度	
構成員の紹介	
構成員会社の検索(条件入力) 検索結果表 大臣認定取得構成員工場の検索(条件入力) 検索結果表 鉄骨製作工場の大臣認定 概要 女性が活躍する会社の紹介	
会員コーナー(IDとPWが必要)	
お知らせ(会員向け)	
全構協会報	
経営支援ツール	
原価早わかりシート 仮設金物類 原価算出シート 見積条件書・チェックリスト 工程管理表 日報デジタル化の手引き リモート製品検査マニュアル BCP実施マニュアル その他	
全構協共済制度	
生命共済 指定塗料 オートリース 形鋼専用鋸刃	
鉄骨技術研究開発助成制度	
技術情報	
高規格材鉄骨説明書確認申請 溶接ヒューム規制情報 その他	
講習会案内	
書籍の案内	
総会・理事会報告(専用PWが必要)	
会議・委員会情報	
アーカイブ(書庫)	
大臣認定工場の詳細情報登録	
アンケートシステム(保留)	
リンク集	
問い合わせ	
個人情報保護方針	
サイト利用上の注意	

【付3】大臣認定工場の検索ページ

★大臣認定取得の構成員工場の検索(2021年9月15日現在)

グレード別認定工場数(2020年3月現在)

Sグレード	5 工場
Hグレード	284 工場
Mグレード	854 工場
Rグレード	633 工場
Jグレード	53 工場
計	1,809 工場



地域別検索	「ここから地域名を選んでください」
グレード別検索	「ここからグレードを選んでください」
フリーワード検索	「ここから語文字を選んでください」

検索開始

※ 現状の分県図に、県名と最新の支部別、グレード数工場数を追加する。

※ 現状の 50 音検索はフリーワード検索に変更する。

【付4】大臣認定工場の検索結果画面

★検索結果：3工場が見つかりました

検索条件

地域別検索

グレード別検索

フリーワード検索

検索

会社名	代表者名	郵便番号	所在地	グレード	認定番号	年間加工能力 (t)	資本金 (万円)	敷地面積 (m ²)	従業員数 (人)	会社 HP	組合 HP	地図
工場名		電話番号			評価対象期限							
〇〇〇〇株式会社	〇〇〇〇	〒XXX-XXXX	〇〇県〇〇市〇〇区〇〇X-XX-X	M	TFBM-XXXXXX	18,000	4,800	43,377	62	→	→	→
〇〇工場		XXX-XXX-XXXX			2021/3/31							
株式会社〇〇〇〇	〇〇〇〇	〒XXX-XXXX	〇〇県〇〇郡〇〇町X-XX-X	R	TFBR-XXXXXX	2,000	500	1,921	18	→		→
		XXX-XXX-XXXX			2022/3/31							
〇〇〇〇有限会社	〇〇〇〇	〒XXX-XXXX	〇〇県〇〇郡〇〇町X-XX-X	J	TFBJ-XXXXXX					→		→
		XXX-XXX-XXXX			2022/3/31							

※ 表の「年間加工能力」以降は、希望する構成員が詳細情報登録することで表示される。

※ 「組合 HP」は、組合の HP に会員紹介ページがある場合、該当ページにリンクする。

【付5】大臣認定工場の詳細情報登録ログイン画面

ID	2	3	-	0	1	5
PW	jw84k92jdu					

※ホームページの会員コーナーの中に設ける。

※ID は、会社の構成員番号とする。

※PW は、ID 毎にランダムに設定した初期 PW を各構成員に個別に通知し、初回ログイン後は自由に変更できる。

【付6】大臣認定工場の詳細情報登録画面

認定番号	TFBM-197354	
会社名	株式会社〇〇鉄工	
工場名	△△工場	
工場所在地	〇〇県〇〇市〇〇	
グレード	H	
評価対象期限	2023/03/31	
年間加工能力	18,000	t
資本金	4,800	万円
工場従業員数	62	人
工場敷地面積	43,377	m ²
建家延面積	11,845	m ²
得意分野	鉄骨建築、耐震補強工事、鉄骨橋梁、各種タンク製造	
会社HPのURL	http://www.hakuyo-kogyo.co.jp/	
組合の会員紹介ページのURL	https://www.steel-rib.com/mem_hakuyou	
登録・更新		

※工場の「認定番号」を入力すると、以下の登録されている情報が表示される。

※黄色の部分の情報を構成員が新規登録または更新することができる。

2022 年 1 月 14 日

材料価格高騰及び納期長期化への対応に係る活動の経過

月	日	項目	内容	主な実施者
7	21	鉄鋼メーカー(日本製鉄)への予備ヒアリング	・「需給ひっ迫要因及び今後の見通し」に関してヒアリング	・事務局
7	26	コラムメーカー(日鉄建材)への予備ヒアリング	・ 同上	・事務局
9	3	近畿支部より会長宛に「嘆願書」が提出される	・「悪化する鋼材環境の改善・解決に対する嘆願書」	・出雲近畿支部長
9	28	第3回理事会 開催	・今後の対応策を検討するワーキンググループ(WG)を設置し「材料の価格高騰と入手難」の問題に積極的に取り組む方針を決定	・理事
10	4 ～ 8	材料メーカー8社に対しヒアリング及び協力要請実施 ・鉄鋼メーカー/ 日本製鉄、JFE スチール ・コラムメーカー / 日鉄建材、セイケイ ・ボルトメーカー/ 日鉄ボルト、神鋼ボルト、日本フアスター工業 ・デッキメーカー/ JFE 建材	・「需給ひっ迫要因及び今後の見通し」に関してヒアリング ・対応方策等について意見交換 ・「材料の安定供給」を要望	・三役
10	6	記者発表	・8社ヒアリングの実施状況 ・第3回理事会の決定事項	・会長、専務、常務
10	13	鉄骨材料入手難対策WG 開催	・行政機関及びゼネコン業界団体に対する現況説明と協力要請の実施を提案	・野田監事 ・高橋監事
11	16	第4回理事会 開催	・国交省、経産省及びゼネコン業界 2 団体に対する現況説明と協力要請の実施を了承	・理事
12	10	国土交通省及び経済産業省を訪問、協力要請	・現況説明と協力要請	・会長、専務、常務
12	16	日本建設業連合会及び全国建設業協会を訪問、協力要請	・ 同上	・永井、大島副会長 ・事務局
12	14、 23、 24	各県及び各支部での要望活動の推進を正会員宛に要請		

鋼材等鉄骨材料価格高騰及び納期の長期化への対応に関する要請活動実施状況について
(各県予備調査報告集計)

2022.1.12

都道府県	検討中	実施済 又は 実施予定	実施済		実施予定	
			実施	実施時期	実施 予定	実施予定時期
1 北海道	-	○	○	2021.9～10	○	2021.1月上旬～2中旬
2 青森	-	○	-		○	2022.1
3 岩手	-	○	○	2021.12	○	2022.1以降
4 宮城	-	○	-		○	2022.2
5 秋田	-	○	-		○	2022.1
6 山形	-	○	○	2021.1	○	2022.1
7 福島	-	○	-		○	2022.1～2
8 茨城	-	○	○	2021.12	-	
9 栃木	-	○	○	2021.9～11	-	
10 群馬	-	○	○	2021.7～2022.1	○	日程調整中
11 埼玉	-	○	○	2022.1	-	
12 千葉	○	-	-		-	
13 東京	-	○	-		○	日程調整中
14 神奈川	-	○	-		○	2022.1
15 新潟	-	○	○	2021.12	○	2022.2
19 山梨	○	-	-		-	
20 長野						
16 富山	○	-	-		-	
17 石川	-	○	○	2022.1	-	
18 福井	○	-	-		-	
21 岐阜	-	○	○	2021.11～12	-	
22 静岡	-	○	○	2021.11～2022.1	-	
23 愛知	-	○	○	2021.12～2022.1	○	2022.1
24 三重	-	○	○	2021.12	○	日程調整中
25 滋賀	○	-	-		-	
26 京都	-	○	-		○	2022.2
27 大阪	-	○	-		○	2022.2以降
28 兵庫	-	○	-		○	2022.1月上旬～2月上旬
29 奈良	○	-	-		-	
30 和歌山	-	○	○	2021.12	○	2021.1
31 鳥取	-	○	○	2021.12～2022.1	○	2022.1
32 島根	-	○	○	2022.1	-	
33 岡山	-	○	○	2021.9～2021.12	○	2021.12下旬～2022.1初旬
34 広島	-	○	-		○	2022.1
35 山口	○	-	-		-	
36 徳島	○	-	-		-	
37 香川	-	○	○	2021.5～11	-	
38 愛媛	-	○	○	2021.12	○	2022.1下旬
39 高知	○	-	-		-	
40 福岡	-	○	○	2022.1	-	
41 佐賀	-	○	○	2022.1	○	2022.1
42 長崎	○	-	-		-	
43 熊本	-	○	-		○	2022.1～2
44 大分	-	○	-		○	2022.2以降
45 宮崎	-	○	-		○	2022.1下旬～2月上旬
46 鹿児島	-	○	○	2021.9～11	-	
47 沖縄	-	○	-		○	2022.1
合計	10	36	22		26	

※長野 未回答

その他の定例報告事項

構成員登録・取消社数累計表

登録・取消承認日	全構協受付締切日	登録社数	取消社数	合計社数
令和3年3月31日現在 (令和2年度増減数)		32	34	2,197
令和3年5月20日 第1回理事会	3月31日	()内数字は3月31日に繰入 (0)	(12)	2,197
令和3年6月29日 第2回理事会	6月21日	13	0	2,210
令和3年9月28日 第3回理事会	9月21日	4	4	2,210
令和3年11月16日 第4回理事会	11月8日	3	4	2,209
令和4年1月14日 第5回理事会	1月7日	3	5	2,207
累 計		23	13	2,207

《グレード別内訳》

S : 5 H : 272 M : 824 R : 606 J : 45 未 : 455 合計 : 2,207

登録構成員増減及び取消理由別社数一覧表

令和4年1月7日現在

区分	登録・取消	登録 社数	増 減							増減差	増 減 後 構 成 員 数
	承 認		取消社数								
			倒 産	転・廃業	縮 小	工場閉鎖	休 業	その他	合 計		
平成13年度合計		22	48	59	37	10	8	117	279	-257	3,261
平成14年度合計		40	67	37	45	21	4	110	284	-244	3,017
平成15年度合計		33	38	28	38	4	9	84	201	-168	2,849
平成16年度合計		65	13	22	18	2	1	45	101	-36	2,813
平成17年度合計		35	15	16	14	2	3	28	78	-43	2,770
平成18年度合計		49	8	15	19	6	3	29	80	-31	2,739
平成19年度合計		51	13	19	20	6	1	20	79	-28	2,711
平成20年度合計		49	17	17	29	0	4	41	108	-59	2,652
平成21年度合計		37	11	47	34	3	6	50	151	-114	2,538
平成22年度合計		23	31	39	33	4	7	52	166	-143	2,395
平成23年度合計		14	13	45	20	3	3	65	149	-135	2,260
平成24年度合計		20	9	15	19	2	0	35	80	-60	2,200
平成25年度合計		13	5	5	13	2	2	15	42	-29	2,171
平成26年度合計		26	2	6	10	0	0	21	39	-13	2,158
平成27年度合計		36	0	5	9	0	0	11	25	11	2,169
平成28年度合計		36	1	6	9	1	0	16	33	3	2,172
平成29年度合計		56	0	9	7	0	0	11	27	29	2,201
平成30年度合計		34	2	5	6	0	1	13	27	7	2,208
令和元年度合計		25	0	10	9	1	0	14	34	-9	2,199
令和2年度合計		32	0	12	6	1	0	15	34	-2	2,197
令和 3 年度	第 2 回 (6月21日)	13	0	0	0	0	0	0	0	13	2,210
	第 3 回 (9月21日)	4	0	2	1	0	0	1	4	0	2,210
	第 4 回 (11月8日)	3	1	1	1	0	0	1	4	-1	2,209
	第 5 回 (1月7日)	3	0	2	0	1	0	2	5	-2	2,207
	第 6 回 (月 日)										
	第 7 回 (月 日)										
	第 8 回 (月 日)										
	年度末処理										
	3年度計	23	1	5	2	1	0	4	13	10	2,207
累 計		1,059	500	678	532	127	79	1,157	3,073	-2,014	2,207

1. 転・廃業内訳	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	転業 0社	転業 1社	転業 1社	転業 0社	転業 1社
	廃業 9社	廃業 4社	廃業 9社	廃業 12社	廃業 4社

2. グレード別取消内訳	S	H	M	R	J	未	合計
平成29年度	0	1	4	4	1	17	27
平成30年度	0	1	2	11	0	13	27
令和元年度	0	1	3	13	0	17	34
令和2年度	0	0	14	7	0	13	34
令和3年度	0	1	3	1	0	8	13

構成員登録社数・増減一覧表

(R3. 11. 9 ~ R4. 1. 7)

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
北海道	北海道	73			0	73
	青森	37			0	37
	岩手	32			0	32
	宮城	42			0	42
東北	秋田	23			0	23
	山形	27			0	27
	福島	61			0	61
	茨城	61			0	61
関東	栃木	51			0	51
	群馬	65			0	65
	埼玉	53			0	53
	千葉	59			0	59
	東京	46			0	46
	神奈川	40	1		1	41
	新潟	87			0	87
	山梨	31			0	31
	長野	68		1	-1	67
	富山	40			0	40
北陸	石川	33			0	33
	福井	42			0	42
	岐阜	75		1	-1	74
中部	静岡	95			0	95
	愛知	132			0	132
	三重	61			0	61
合 計		2,209	3	5	-2	2,207

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
近畿	滋賀	31			0	31
	京都	48		1	-1	47
	大阪	113		1	-1	112
	兵庫	75			0	75
奈良	奈良	37			0	37
	和歌山	38			0	38
	鳥取	14			0	14
	島根	23			0	23
中国	岡山	35			0	35
	広島	79	1		1	80
	山口	38			0	38
	徳島	25			0	25
四国	香川	44			0	44
	愛媛	41	1		1	42
	高知	23			0	23
	福岡	54			0	54
九州	佐賀	24			0	24
	長崎	19			0	19
	熊本	23			0	23
	大分	20			0	20
	宮崎	25			0	25
	鹿児島	29		1	-1	28
	沖縄	17			0	17
合 計		2,209	3	5	-2	2,207

構成員登録申請企業一覽表

令和4年1月7日現在
令和4年1月14日決定

(3 社)

[illegible]

構成員登録取消企業一覽表

令和4年1月7日現在
令和4年1月14日決定

(5 社)

[illegible]

建築着工面積と鉄骨推定所要量推移

(国土交通省建築着工統計速報による)

2022年1月7日作成

年度	月	全建築物		鉄骨造		鉄骨鉄筋造		鉄骨推定重量計	
		面積	前年同期比	面積	前年同期比	面積	前年同期比	トン数	前年同期比
平成13年度計		178,903	91.9	63,529	89.7	13,056	85.3	7,006,500	89.2
平成14年度計		171,031	95.6	61,468	96.8	10,958	83.9	6,694,700	95.5
平成15年度計		176,531	103.2	64,378	104.7	9,402	85.8	6,907,900	103.2
平成16年度計		182,774	103.5	69,927	108.6	6,834	72.7	7,334,400	106.2
平成17年度計		185,648	101.6	69,338	99.2	5,468	80.0	7,207,200	98.3
平成18年度計		187,611	101.1	70,187	101.2	6,317	115.5	7,334,550	101.8
平成19年度計		157,219	83.8	61,466	87.6	5,443	86.2	6,418,750	87.5
平成20年度計		151,394	96.3	56,639	92.1	4,604	84.6	5,894,100	91.8
平成21年度計		113,196	74.8	37,589	66.4	2,937	63.8	3,905,750	66.3
平成22年度計		122,281	108.0	40,478	107.7	2,731	93.0	4,184,350	107.1
平成23年度計		127,294	104.1	41,792	103.2	2,610	95.6	4,309,700	103.0
平成24年度計		135,452	106.4	46,257	110.7	2,677	102.6	4,759,550	110.4
平成25年度計		148,461	109.6	52,350	113.2	3,466	129.5	5,408,300	113.6
平成26年度計		130,791	88.1	48,554	92.7	3,019	87.1	5,006,350	92.6
平成27年度計		129,605	99.1	48,304	99.5	2,909	96.4	4,975,850	99.4
平成28年度計		134,236	103.6	49,957	103.4	2,171	74.6	5,104,250	102.6
平成29年度計		133,028	99.1	50,701	101.5	2,788	128.4	5,209,500	102.1
平成30年度計		131,078	98.5	50,048	98.7	1,464	52.5	5,078,000	97.5
2019(令和元)年度計		124,936	95.3	44,928	89.8	1,480	101.1	4,566,800	89.9
2020(令和2)年度	4月	9,992	89.0	3,528	90.0	199	99.5	362,750	90.3
	5月	9,444	89.5	3,520	93.6	276	187.8	365,800	95.4
	6月	9,925	84.0	3,648	85.2	85	113.3	369,050	85.4
	7月	9,701	81.0	3,543	74.5	42	32.1	356,400	73.9
	8月	9,414	84.3	2,914	69.2	54	108.0	294,100	69.4
	9月	10,068	97.6	3,368	96.7	251	165.1	349,350	98.2
	10月	9,613	90.6	3,284	89.3	107	97.3	333,750	89.4
	11月	9,371	93.1	3,000	85.5	286	307.5	314,300	88.4
	12月	9,179	88.6	3,380	83.9	226	209.3	349,300	85.6
	1月	8,377	104.9	3,183	119.6	96	89.7	323,100	119.0
	2月	8,595	95.2	3,083	102.8	198	95.2	318,200	102.5
	3月	10,435	106.1	3,767	103.5	58	58.6	379,600	102.9
	年度計	114,114	91.3	40,218	89.5	1,878	126.9	4,115,700	90.1
2021(令和3)年度	4月	10,536	105.4	3,876	109.9	120	60.3	393,600	108.5
	5月	10,422	110.4	3,876	110.1	108	39.1	393,000	107.4
	6月	10,850	109.3	4,124	113.0	175	205.9	421,150	114.1
	7月	10,664	109.9	3,701	104.5	109	259.5	375,550	105.4
	8月	9,537	101.3	3,225	110.7	74	137.0	326,200	110.9
	9月	9,948	98.8	3,427	101.8	179	71.3	351,650	100.7
	10月	12,094	125.8	5,309	161.7	220	205.6	541,900	162.4
	11月	10,125	108.0	3,464	115.5	141	49.3	353,450	112.5
	12月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	2月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	3月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	年度計	84,176	108.6	31,002	115.7	1,126	86.6	3,156,500	115.0

(単位) 面積 1,000㎡
前年同期比 %

(注) 鉄骨推定所要量
鉄骨造 ㎡×100kg
鉄骨鉄筋造 ㎡×50kg

< 北海道支部 > 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 11月分

(A)

提出日 令和3年12月8日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
支部	道内各支部活動・行事等	北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等
道央	・9日(火) 三役会・役員会 ・16日(火) 支部例会	・10日(水)～11日(木) 特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者技能講習 ・16日(火)、26日(金) 工場審査
函館	・25日(木) 支部例会	
室苦小樽		
旭川	・8日(月) 営業会議	
北見	・24日(水) 委員会(例会)	
帯広	・9日(火) 支部例会	
釧路	・4日(木) 支部例会	

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
支部	S・H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
道央	3 ～ 9	1 ～ 3	1 ～ 3	75 ～ 100			○			
函館	2	2 ～ 3	2 ～ 3	70 ～ 100			○			
室苦小樽	2 ～ 14	2 ～ 4	1 ～ 2	80 ～ 110		○				
旭川	12	2 ～ 3		90		○				
北見		1 ～ 3		90 ～ 100			○			
帯広	1 ～ 5	1 ～ 3	1 ～ 3	75 ～ 120		○				
釧路	11	3		80 ～ 120		○				

(C)

支部	現状と今後の状況の見通しについて
道央	・山積みは、S・HグレードとR・J・未は前月とほぼ変わらないが、Mグレードがやや減少。工場稼働率は全般的に75-100%だが若干減少傾向。見積りは「少ない」が増加し、「同じ」を上回った。相変わらず鋼材価格の上昇及び材料納期の長期化が深刻な状況。また中小物件が少ないとの声がある。 共同積算:1-11月 111,709t 平年比90% 前年比96%
函館	・稼働率については、各社バラつきはあるが落ち着いてきているところもあり、全体的に低め。年明け以降の手持ち及び見積り量は少ない。変わらず、材料の納期及び月毎の値上げに苦慮している。
室苦小樽	・資材単価の価格上昇の収束に目途が立たないうえ、HTBなど資材納期も不透明になってきている。それに伴い概算時の単価に関しては注意すべきである。
旭川	・冬期加工物件が少ない。
北見	・各社共に、手持ち物件も大方年内には片付きそうで、年明けからの見通しがあまり良くない状況。これから先の設計物件の単価予想が困難。
帯広	・各社年内は現状維持の状況だが、年明け以降は不透明。鋼材価格の高騰による価格決定に苦慮している。
釧路	・各社共に、山積みは段々低くなっている。12月に入ると急に稼働率が下がりそうな状況。

< 北海道支部 > 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 12月分

(A)

提出日 令和4年1月7日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
支部	道内各支部活動・行事等	北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等
道央	・7日(火) 三役会、役員会	・10日(金) 第4回役員会、交流会
函館	・23日(木) 支部例会、経営者懇談会	
室苦小樽		
旭川	・13日(月) 営業会議	
北見		
帯広		
釧路	・3日(金) 交流会	

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
支部	S・H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
道央	3 ~ 9	1 ~ 3	1 ~ 3	75 ~ 100			○			
函館	3	3 ~ 4	2 ~ 3	60 ~ 100			○			
室苦小樽	5 ~ 7	2 ~ 3	1 ~ 2	50 ~ 110		○				
旭川	12	1 ~ 3		70		○				
北見		1 ~ 4		80 ~ 90			○			
帯広	2 ~ 5	1 ~ 4	1	50 ~ 100			○			
釧路	11	2 ~ 6		40 ~ 100		○				

(C)

支部	現状と今後の状況の見通しについて
道央	・山積みは、各グレード共に前月とほぼ変わらず、S・Hグレードは3~9ヶ月、M・R・J・未は1~3ヶ月。工場稼働率は全般的に75~100%。見積りは「少ない」が増加し62%を占め、「同じ」は34%。鋼材価格の上昇及び材料納期の長期化の深刻な状況が続いている。 共同積算:1~12月 121,634t 平年比90% 前年比102%
函館	・稼働率・山積み共に横ばいだが、年明け以降の手持ち及び見積り量は平均すると少ない。変わらず、材料の納期・値上げに苦慮している。
室苦小樽	・鋼材・消耗品共に価格の上昇が止まらず、請負価格に転嫁することが難しくなっている。その影響から加工費の減少については大きな変動はないが、受注金額に対する利益率は厳しい局面を迎えている。
旭川	・各社共に、冬期加工物件は少ない。
北見	・各社共に、手持ち物件も大方年内には片付き、年明けからの見通しがよろしくない状況。これから先、各種価格の予想が困難と思われる。
帯広	・稼働率は低調気味。今後の手持ちは各社バラつきがあり、深刻な状況が予想される。
釧路	・工場稼働率は下がっており、1月~4月の仕事が見えない状況となっている。

＜東北支部＞ 状 況 報 告 書

2021 年（令和 3 年）11 月分

(A)

提出日 令和 3 年 12 月 1 日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	東北支部活動・行事等
青森県	○11/10～11 青年部工場見学と親睦ゴルフコンペ ○11/16 積算業務担当者会議 ○11/18,30 技術品質サポート（各 1 社）	○11/9 東北鉄構工業連合会積算業務委員会 （仙台＋WEB）
岩手県	○11/11 県南支部会 ○11/12 青年部ハイスキップ構法研修会 ○11/19 盛岡支部会 ○11/29 組合広報委員会	
宮城県	○11/24 営業担当者会議、役員会・理事会	
秋田県	○11/24 営業担当者会議	
山形県	○11/2 営業実務者会議 ○11/12 超音波探傷技術研究会 探傷器の定期点検 ○11/17 三役会及び役員会 ○11/25 青年部 工場長能力向上研修会(リモート)	
福島県	○11/18 第 4 回理事会	

(B)

①手持ち工事量（ヵ月）				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S 造 (H+H)	S 造 (コラム H)	SRC 造
青森県	2～13	3～15	1～4	70 ～ 120		○				
岩手県	3～11	2～6	2～3	80 ～ 110			○			
宮城県	6～13	2～5	1～3	20 ～ 100			○			
秋田県	6～9	1～4	1～4	90 ～ 120			○			
山形県	3～12	2～7	1～3	90 ～ 100			○			
福島県	6～12	1～12	0～10	30 ～ 120			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
青森県	手持ち工事量・稼働率に大きな変化はないが、鋼材不足はますます厳しくなり、材料入荷に合わせて仕事を選定するため、見積時点の調整に苦慮している。地場中小案件については若干増加したが、特約店がつくことの多い大型物件よりも手配や工程の予定が組みにくく、依然価格も厳しいままで今後の不安感が払拭できない状況。
岩手県	鋼材・資材の入手難の状況に変化は無く、一部改善の声も聞かれるが鋼種によっては悪化しているものもある。そのような中であるが、手持ち工事量・稼働率は高水準を保っている。材料支給の契約とするなど、引き続き鋼材問題への対応が迫られる。
宮城県	図面決定の遅延や鋼材納入の遅れもあり、現場の工程にも影響が出ている。鋼材単価も不安定な為見積もり時には細心の注意が必要。地元の中小物件が少ない状況なので、組合員同士で連携を取りつつ乗り切っていきたい。
秋田県	見積もり件数が少なくなっている。価格も大きな変動が無く、鋼材の入手難、高騰で冬場へ向けて厳しい状況である。
山形県	県内見積件数は、前月と比べ半減した。全体的に厳しい状況が続いき、先行きは不透明である。
福島県	先月同様、大型工事が目立ち地元の中小工事が少ない様子です。稼働率もグレードにより格差が大きい傾向です。来年以降の見積依頼や物件情報数は増えているようですが、来年の見積りですので鋼材費・消耗費の値上げ幅が判らず各社苦慮している様子です。

<東北支部> 状 況 報 告 書

2021 年（令和 3 年）12 月分

(A)

提出日 令和 4 年 1 月 4 日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	東北支部活動・行事等
青森県	○12/15 積算業務担当者会議	○12/6 建専連東北役員・日建連東北支部意見交換会（仙台） ○12/7 東北鉄構工業連合会積算業務委員会（仙台+WEB） ○12/9 東北鉄構工業連合会・東北支部役員会（盛岡） ○12/13 東北地方建設産業社会保険推進・処遇改善連絡協議会（WEB） ○12/22 東北 6 県事務局会議・東北支部共済推進会議（盛岡）
岩手県	○12/6 後期性能評価傾向対策説明会 ○12/11 エンドタブ施工講習会 ○12/13 盛岡支部会 ○12/15 組合理事会、組合役員・賛助会員懇談会 ○12/17 県南支部会 ○12/21 青年部役員会 ○12/27 鋼材問題に関する要望（県建設業協会・県建築士事務所協会）	
宮城県		
秋田県	○12/14 技術・品質サポート 1 社 ○12/15 技術・品質サポート 1 社 ○12/16 技術・品質サポート 1 社 ○12/23 営業担当者会議	
山形県		
福島県	○12/3 第 4 回営業責任者会議 ○12/4 青年部役員会・忘年会 ○12/17,24 技術品質サポート(各 1 社)	

(B)

①手持ち工事量（ヵ月）				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S 造 (H+H)	S 造 (コラム H)	SRC 造
青森県	5～12	3～14	2～4	80 ～ 120			○			
岩手県	3～11	2～6	1～2	70 ～ 100			○			
宮城県	7～12	3～6	1～3	50 ～ 100			○			
秋田県	6～8	1～4	1～4	50 ～ 110			○			
山形県	3～12	2～9	1～3	90 ～ 100	○					
福島県	6～11	0.5～12	0～10	10 ～ 120			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
青森県	稼働率に変化はないが、改善傾向だった地元の中小見積物件がまた減少に転じた。鋼材の入手難・価格高騰は来年も続くともみられ、加工費を下げすぎないように、適正な金額で今後も仕事を確保していくように各社で呼びかけ合っている。
岩手県	工場稼働率・手持ち工事量は若干低下気味ではあるが比較的高水準を維持。見積物件数が減少していることを訴える工場が増える中で工場加工費の平均値が下がっており、今後より一層組合員間の連携と情報交換が必要。鋼材の価格上昇と入手難は引き続き出口が見えず、先行きの不透明感が増大。
宮城県	先月と状況はほぼ変わらず。消耗品・副資材についても値上げの要望が来ているので原価管理に要注意。22 年度も厳しい状況が続くものとみられる方が多数。
秋田県	前回同様物件数が少ない。更に鋼材入手難や価格の高騰により今後の仕事量確保が心配される。
山形県	県内物件数は、昨年比、前月比ともに増ではあったが、業界を取り巻く厳しい環境がいつまで続くかが懸念材料である。
福島県	価格上昇及び品薄の鋼材問題は、工場規模に関わらず厳しい状況です。本体鉄骨鋼材はともかく付帯工事にもなう二次部材費の値上がりも、各社対応に苦慮しているようです。来年の見積りも始めているようですが、材料の入手が厳しいものもあり、材料の入荷待ちによる稼働率低下も多くなりそうです。

< 関東支部 > 状況報告書

2021年(令和3年) 11月分

提出日 令和4年1月7日

(A)

都道府県	①全構協推進事業の現状	②支部活動状況
東京都	17日 理事会、M部会、青年部会	関東支部活動・行事等 24日 関東支部女子職員研修会
千葉県	6日(土)固形エンドタブ検定、11日(木)南部支部会、12日(金)青年部親睦会、20日(土)・21日(日)溶接ヒューム講習会、25日(木)固形エンドタブ検定判定会議、29日(月)建産連構成団体事務局長会議	
神奈川県	4日 事業運営委員会(リモート)、9日 性能評価事前研修会、13日 理事会・研修会、19日 RJNグレード部会役員会	
茨城県	20日 茨城鉄構オープン(内原CC)、26日 県知事を囲む会、27~28日 UT実技(二次試験対策)講習会	
埼玉県	2日(水)総務委員会、12日(金)PAWG(フェイスドアレイ実証実験)、18日(木)STK会組合親睦ゴルフ、19日(金)PAWG(フェイスドアレイ実証実験)、24日(水)県東支部会	
栃木県	11/10 工業会10周年記念事業実行委員会、11/11 定例理事会(対面開催)	
群馬県	2日 青年部役員会、3日 組合ゴルフコンペ、工場審査(1社)	
長野県	5日 技術委員会、9日 運営委員会、19日 理事会、20日 UT実技講習会	
山梨県	10日 理事会 12日 山梨県中小企業団体中央会情報連絡員会議 18日 ガス溶接技能講習(～19日) 20日 溶接JIS検定 22日 青年部会 25日 5t未満クレーン運転特別教育(～26日) 26日 経営近代化委員会 30日 溶接安全委員会	
新潟県	10/31～11/1 鉄骨製品検査技術者 実技講習会 8名参加 11/3～4 鉄骨超音波検査技術者 実技講習会 5名参加 11/22 第5回正副理事長会議 11/9～16 工場審査サポート(前倒し2工場)	

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
東京都	6～14	3～8	3～5	50～110		○				
千葉県	3.0	3～6	-	30～100		○				
神奈川県	11.0	1～6	1～2	50～100			○			
茨城県	6～13	3～9	2～3	90～100		○				
埼玉県	3～12	2～13	2～7	50～100		○				
栃木県	10～12	4～8	2～4	70～100	○					
群馬県	6～16	2～6	2～3.5	80～110		○				
長野県	4～14	0.5～11	1	0～100		○				
山梨県	8～12	0.7～12	2～3	70～120			○			
新潟県	7～14	2～7	2～3	80～100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
東京都	仕事量は量的に回復の兆しが見え、二極化が薄らいできた感がある一方で、鋼材の価格高騰の勢いは続いており、納期は長期化し入手時期も不明確なため品薄感が強い。また、材料価格の高騰及び入手難から契約を失注する案件も増えている。
千葉県	仕事は増えたが、コラムが無く予定が遅れている。材料が高い。
神奈川県	見積りも増えて山積みも高まる組合員が多くなってきたが、材料納期の問題で受注を断念するなどの報告もある。GC同士のたたき合いの末、低入で落札したとの話を聞くようになってきた。鋼材価格の高騰と低入のしわ寄せで厳しい指し値が想定されるが、今期は440万と言われているように物件は多くないので選別受注が大切になる。
茨城県	* 中小案件が動きだした感じがします。夏から秋口の物流倉庫がかなり出ているようです。来年以降も仕事量はあると思いますが、問題は、鋼材不足と単価高騰が懸念されます。加工単価は仕事量が出れば、多少上向きになると思う。仕事ネットワークを作って、みんなで共有できる環境を構築したい。 * 鋼材はもちろん、溶材、運送、めっき、塗料と買うものすべての価格上昇が、加工賃を圧迫しております。依然とて物流倉庫のような大型工事は活発と聞きますが、地場ゼネコン中小物件の話は届いてきません。
埼玉県	鋼材、ボルト等の材料価格の高騰は続いている。しかし、納期に関しては協力が文字通り協力してくれており、納期問題はさほど起こっていない。そのため、稼働率もさほど落ち込みはなく、手持ち量が増えている。ただ、新たなコロナ変異株の発生でどう影響するか注視している。
栃木県	* 材料高騰の為、見積りが難しい。 * コラム及び外法H鋼の納期遅延により影響が出ている。・建方とびが忙しいようで予定が組めない。
群馬県	鋼材費の高騰については、値上げに受注単価が追いつかないとか、先行して受注しないようにしているという意見の他、反面、少しずつ理解をしてもらえるようになってきたという意見もある。しかし鋼材納期に関しては不安が消えない状況が続いている。
長野県	材料の高騰と入手難が長期化しており見積りが難しい。今後の見通しに注意しながら見積・交渉していく事が不可欠である。
山梨県	鋼材価格の高騰、在庫不足は相変わらず、全構協の幹部が材料メーカーに要請した結果はどうなったのでしょうか？溶接ヒュームが特化則第2類に指定されたことに伴う実施対応が企業間でバラバラであり、本年4月1日以降施行された項目を会員毎リスト化し、F/UPLしてゆく。
新潟県	鋼材価格の急上昇と入手困難が続いており、受注判断に苦慮している状況は他県でも共通の様様。材料価格の上昇分を価格に転嫁できていない組合員も多い。早期の鋼材価格の安定と、安定供給を望む。

< 関東支部 > 状況報告書

2021年(令和3年) 12月分

提出日 令和3年1月7日

(A)

都道府県	①全構協推進事業の現状	②支部活動状況
東京都	13日 青年部講演会 15日 理事会、青年部会、M部会 18日 東構塾	関東支部活動・行事等 12/7 第4回関東支部会 12/16 第4回関東支部運営委員会
千葉県	3日(金)三役・支部長会、理事会 6日(月)西部支部会	
神奈川県	2日 事業運営委員会(リモート)、9日 理事会、11日 青年部会研修会	
茨城県	14日 茨城県建築関連団体交流会(県知事懇談)、17日 第5回理事会、13・20日 茨城県・建築事務所協会・建設業協会・JSCA茨城へ要望活動、22日 東関東非破壊検査研究会役員会(大岡顧問内閣総理大臣賞受賞)、その他 *技能実習生定期監査	
埼玉県	1日(水)総務委員会、5日(日)県北支部会及び忘年会、8日(水)組合理事会、15日(水)県東支部会、16日(木)県南支部会及び忘年会、工場審査サポート6社	
栃木県	12/9 運営委員会、12/10 青年部情報交流会、12/11 青年部ゴルフコンペ、12/14 栃木県建築構造設計事務所協会との懇談会、12/15 10周年記念事業実行委員会、12/16 定例理事会、	
群馬県	12/14 青年部会役員会、サポート実施(3社)	
長野県	17日(金) 青年部会	
山梨県	1日 UT実技講習(～2日)、8日 山梨県中小企業団体中央会役員交流会、9日 東部地区溶接協会連絡会、10日 理事会、11日 溶接JIS検定、15日 山梨県労働災害防止団体連絡会、22日 教育技術委員会、23日 青年部会、アーク溶接特別教育(高校7校/12月中)	
新潟県	12/10 第5回出張理事会(県央支部) 12/17 青年部会 若手社員教育講習会(29名参加) 12/1～8 工場審査(前倒し3工場)、12/27 工場審査サポート(1工場)	

(B)

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
東京都	6～12	3～7	2～5	50～100		○				
千葉県	12～14	1.5～7	-	50～100		○				
神奈川県	12～13	1～7	1～2	50～100			○			
茨城県	9～12	3～8	2～3	80～95		○				
埼玉県	3～12	3～7	2～4	20～100		○				
栃木県	8～10	4～8	2～4	70～100		○				
群馬県	5.5～16	2～6	2～4	85～100		○				
長野県	6～12	1～9	0.5	3～110			○			
山梨県	7～12	1～12	2～3	80～150			○			
新潟県	5～14	2～7	2～4	90～100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
東京都	依然として先行きの不透明感は拭えていないが仕事量は量的に回復基調にある。一方、高騰の勢いが止まらない材料価格や長期化する材料納期は入手時期も不明確で品薄感が強い。なお、材料価格の高騰及び入手難から契約を失注する案件も増えており、厳しい経営環境となっている。
千葉県	コラムの手当がしやすくなってきた。鋼材価格の高騰と材料供給を安定させてほしい。
神奈川県	見積もりは月を追う毎に増えていますが、官庁案件が鈍いように感じます。各社の山積みも材料納期の問題から令和4年秋ごろまで抱えるMグレードの組合員もいたり、足元は暇で仲間内の応援で凌ぐ組合員もいたりバラつきは大きい様です。R,Mグレードでは高止まりな鋼材価格が転嫁できず、加工費を圧迫している状況は改善しつつあるようです。来春以降の更なる値上げ幅として数千円の上乗せを見込んだ取り決めをしたいのですが、失注に終わるケースが多いようです。鋼材の納期や価格を考えるとS造よりもRC造の方が安い場合があり、鉄離れを危惧します。
茨城県	* 毎年1-3月期は仕事量が少ないので、4月以降の物件を前倒しで、進めていきたい。県内の物件が4月以降出てきている。 * 見積り依頼が増えてきましたが、同時期の建方でもBCP物件とBCR物件では取決め時期が大きく違う為、受注目標物件の選定が難しくなっております。
埼玉県	材料価格の高騰と納期の長期化で、おそれと見積もりを出せる状況ではなく、先々の物件が決まらない。このような状況下では、S造からRC等へ変更話も出ている。
栃木県	・中小物件の案件が少ない気がする。 ・溶接工の手配が難しく捕まらない。
群馬県	鋼材の価格上昇については少しづつ理解してもらえるようになったが、納期遅延については未だ理解が得られていない。手持量はR:2～4ヶ月、M:2～6ヶ月、H:5.5～16ヶ月となっている。
長野県	・鋼材価格の上昇と入手難が続いており見積りが難しい。 ・工事の大型化による工程の遅れにより山積みが高くなる。 ・人材不足
山梨県	Mクラスで仕事量、稼働率の格差が大きい。県内の公共物件は相変わらず少ないが民間で倉庫や事務所、工場の新設や増設、IT関連会社の研究所増設物件の計画が目立つようになってきた。
新潟県	鋼材価格の急上昇と入手困難が続いており、受注判断に苦慮している状況は変わらず。材料価格の上昇分を価格に転嫁できていない組合員も多い。年末は仕事量を確保しており比較的高い稼働率で推移している。 早期の鋼材価格の安定と、安定供給を望む。

< 北陸支部 > 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 11月分

(A)

提出日 令和 3年 12月 日

① 全構協推進事業の現状		② 支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	北陸支部活動・行事等
富山県	5日(金) 青年部会・第4回役員会(web) 10日(水) 中小企業団体中央会・富山県大会 10日(水) 青年部会・技術委員会・工場見学会 12日(金) 中央会・オンラインシステムセミナー	16日(火) 第4回全構協理事会(東京) 16日(火) 全構協・青年部会ブロック長 意見交換会(東京) 20日(土) 全青会・理事会(大分)
石川県	2日 賛助会員との情報交換会・懇親会 5日 第6回青年役員会(建設会館) 10日 石川県建設功労者知事表彰表彰式 14日 石川県鉄骨工業協同組合第10回親睦ゴルフ大会 18日 エアラップ静電ハンドガン講習会 26日 建設キャリアアップシステム説明会 26日 青年部研修会	
福井県	4日(木) UTレベル1学実技講習会(～12日) 9日(火) 県鉄工業協同組合連合会 鉄工まつり 11日(木) 定例三役会・理事会 17日(水) 認定部会役員会・例会 30日(火) フルハーネス講習会(特別教育)(～12月1日)	

(B)

① 手持工事量(ヶ月)				② 稼働率(%)	③ 見積物件の傾向			④ 工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
富山県	5～11	3～4	1～2	70～100		○				
石川県	6～12	3～6	2～3	80～100		○				
福井県	6～13	3～7	2～3	70～150	○					

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
富山県	大手ファブと中小ファブとの格差は増々広がっているように感じられる。地場物件も出てきているが短納期のため、特にBCRの手配がつかず受注出来ない物件が多くなっている。この状態が長引けば物件発注の見合わせや、RC造、小型物件の木造化への設計変更が懸念される。当分は大手の下請けをするなどし、価格と納期の合う物件を受注していかなければならない。
石川県	鋼材価格の高騰については施主・設計事務所、GCにも浸透はしているものの価格転嫁が十分にもできていなく加工費にもしわ寄せがきている状態。GCへはさらに理解をしてもらう努力が必要だと思われる。納期についてもあまり変化なく工期の見直し、鉄骨造からRC造、木造への変更も見られる。加工予定のものでも鋼材納期の遅延により製作工程の変更も余儀なくされている。特に地場物件中心のファブについては冬季の年度末にかけての工場稼働に心配がある。コロナが落ち着いている中、対面での情報交換の有効性も感じるところで、できる限り対面での場を増やしていければと思う。
福井県	・平均受注量は今年4～5月に比し約2倍に増加している。しかし、主要鋼材の著しい高騰と副資材の高騰が続く中、受注単価はアップせず利益は減少している。各ファブ共に受注量と利益確保のバランスに困惑しながら操業を続けている。 ・コロナ禍が一旦治まりを見せる中、県内行政では各業種に対するコロナ禍の影響ヒアリング調査に入ったが、再び新変移株(オミクロン株)の猛威が予想される現状での影響調査は時期ズレの感がある。 ・一刻も早く主要鋼材等高騰を受注価格アップに転嫁できるように、元請とも協力体制を取って施主らへのアピール行動を行う時期にきている。

< 北陸支部 > 状 況 報 告 書

2021年（令和3年） 12月分

提出日 令和 4年 1月 7日

(A)

① 全構協推進事業の現状		② 支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	北陸支部活動・行事等
富山県	3日(金) 青年部会・第5回役員会 25日(土) 青年部会 交流委員会・ ファミリークリスマス会	
石川県	4日 青年部忘年会 14日 臨時理事会 14日 理事・監事忘年会 16日 改正電子帳簿保存法に関する講習会	
福井県	3日(金) 定例三役会・役員会 10日(金) 認定部会役員会・例会(忘年会) 10日(金) 福井青年中央会周年記念事業参加 17日(金) 青年部会例会 24日(金) 組合新年会準備会議	

(B)

① 手持工事量(ヶ月)				② 稼働率(%)	③ 見積物件の傾向			④ 工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
富山県	6～11	3～8	1～3	70～100			○			
石川県	6～12	2～7	2～4	90～100		○				
福井県	5～12	2～7	1～3	70～120		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
富山県	各ファブとも状況は先月とあまり変わらない。我々ファブにとって鋼材の大幅な値上げと、長納期化への対応は最優先課題であるため、商社、特約店の介在物件を受注して与信のリスクを回避しながら、同業他社の手伝いなどをし、稼働率を確保しているファブも見受けられる。鉄骨単価は上昇しているが、鋼材上昇分の完全な転嫁は出来ておらず加工費を圧迫している状況が続いている。
石川県	材料納期の長期化と主要鋼材の高騰は変わりなく客先の工程、工事予算合わせに苦労している。見積もりについては、多いところと少ないところのばらつきがあるが全体としては普通。手持ち量は大手ファブは1年程度確保しているが、中には年明けからは空いてしまう工場もある様子。年内は手持ち量もあるので価格面についても落ち着いているが、来年以降の仕事量、価格面について心配しているファブもでてきているので、仕事の協力、情報の交換など、組合員同士の協力が不可欠になってくると思われる。
福井県	・主要鋼材と副資材の高騰は依然として経営を圧迫している。加えてBCP材入手に1年以上かかるなど調達にも不安が増している。 ・上位グレードは多くが来春以降までの山積みを抱えているが、下位グレードでは既に手持ち量が尽きている所もあるなど、“ファブ同士が協力して生き残る”という意識付けが一層必要な時期に来ている。 ・コロナ禍が約2年が経過する中、鉄構業界へもコロナ影響が生じている事に対して発注者や設計事務所の理解は薄く、工事予算や設計価格の上昇傾向は未だ見えてこない。

< 中部支部 > 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 11月分

提出日 2022年(令和4年)1月6日

(A)

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等		中部支部活動・行事等	
岐阜県	13 日(土) 青年部会40周年記念事業 19 日(金) 岐阜県官公需フォーラム 24 日(水) 理事会 26日(金)～28日(日) アーク溶接特別教育講習会		9 日(火) 全構協;三役会 出席 16 日(火) 全構協;理事会 出席	
静岡県	24 日(水) 役員会・臨時総会			
愛知県	5 日(金) 名古屋南支部会 8 日(月) 東三河支部会 16 日(火) H部会 25 日(木) JIS溶接;学科講習会			
三重県	6 日(土) 中部ブロック合同研修会 22 日(月) 第7回理事会			

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
岐阜県	3～6	3～6	1～5	80 ～ 120		○				
静岡県	6～12	1～6	3～6	70 ～ 160		○				
愛知県	6～12	3～10	1～3	50 ～ 120		○				
三重県	13～16	4～7	2～4	80 ～ 125		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
岐阜県	- 鋼材価格の高騰と不足により受注が困難になりつつある。 - 先月に引き続きRグレード以下で工場稼働率が悪くなっている。 - コロナ禍の落ち込みから一定の回復が見込まれるが、材料の高騰と入手困難で、計画の見直しや設計変更となることがある。 - 大型倉庫物件が多い。 - コロナ禍で延期していた物件の再開などもあり、受注は堅調である。 - G型など軽量の鋼材に関してまだ値上げの話もあり不安である。
静岡県	- 首都圏を営業圏とする上位グレードのファブの山積みは、高層建築を中心に依然高い模様。また、コラム等の鋼材の納期伸長と鋼材価格の高騰が、受注環境に大きく影響し、公共、民間問わず、各社の受注判断が非常に難しい。小規模物件では、物件引き合いがあっても、受注に向けての活動が出来ない状況になっている。中規模以上の物件については、鋼材納期を考えると、既に8ヵ月以上先の物件の発注(内定)が済んでいる状況。 - 材料の高騰及び品薄状態から直近での見積もり物件は大幅減った様に思う。 - コラムとボルトの入手困難。鋼材がどこまで上がるか、鋼材値段が不安。 - 材料の市中在庫不足で材料が揃わず、受注が少なめで進んでいる。山積み分まで遊ぶことはないが、ロール受付できる3月頃からの稼働状況が良くなるが、年末年始は受注物件が少ない状況になりそうである。見積物件は春以降物件が多くなってきているので期待したいところ。 - 山積みは増えてきたが、材料不足の懸念による先行発注のような物も多く、実際にはスムーズに動いていない物件が多く稼働率が上がってこない。
愛知県	- コロナの状況も落ち着きだし、良い方向へ向かっているように感じる。 - 半導体の品不足がもう少し解消され、鋼材単価・納期も落ち着けば本格的に受注も復活されてくると思います。 - 鋼材や副資材の価格はまだ上昇傾向にあると思われる。 - 鋼材価格の高騰で加工費への圧力が大きくなっている。
三重県	- コロナは落ち着いているが、今後も各種の価格高騰も懸念される。 - 以前にも増して、益々鋼材入手や価格上昇により圧迫されてきています。 - 物件は増えてきていると思いますが、鋼材・ボルト・鋼板の値上がりの予測が出来ず、見積りが非常に難しい状態です。 - また、工期があれば別ですが、材料を確実に入手出来なければ受注できないのが現状です。

< 中部支部 > 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 12月分

(A)

提出日 2022年(令和4年)1月6日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等		中部支部活動・行事等
岐阜県	11 日(土) 粉じん作業特別教育講習会 18 日(土) 砥石取替特別講習会		23 日(木) 中部地方整備局:要望書 提出
静岡県	15 日(水) 三役会		
愛知県	3 日(金) 名古屋北支部会 9 日(木) 西三河支部会 10 日(金) JIS溶接:実技講習会 14 日(火) JIS溶接:試験 正副理事長会 15 日(水) 全鉄評:評価員会 出席		
三重県	10 日(金) 青年部工場見学会(奈良・静岡青年部8名参加) 13 日(月) 特定物質作業主任者講習会(39社55名参加) 14 日(火) " 18日(土)~22日(水) 超音波探傷(UT)基礎講座(5名参加) 21 日(火) 第8回理事会		

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
岐阜県	3~6	3.5~6	1~3.5	100 ~ 120		○				
静岡県	6~12	1~6	3~5	50 ~ 160		○				
愛知県	7~15	3~10	1~3	50 ~ 120		○				
三重県	13~15	3~8	2~4	90 ~ 125		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
岐阜県	・鋼材価格の高騰で入手困難な状況のため受注にも影響がある。
静岡県	・材料の調達可否が、受注に大きく影響してしまっている。山積みがないまま、材料が調達できるタイミングの物件が無い為、同業他社からの受注で山積みを埋めているケースも多いのではないかと。総じて鋼材価格加工賃安の傾向になっているのではないかと。 ・相変わらず、受注する際の鋼材の仕入れ状況に左右され、製作工程と合わなくなり、稼働状況に波が続き、出荷間際の無駄な忙しさが発生してしまっている。鋼材高騰の受注単価への転嫁が十分なまでにまだ至っていない。 ・客先によっては材料の値上げ分が受注時に確保できない場合がある。よって加工単価が下がり利益がかなり失われる。早くこの状況を脱却したいかぎり。
愛知県	・小規模物件の見積もりが少ないように思われる。 ・工事量も安定し、物件数には問題なさそう。今後は、加工単価の上昇を期待したい。 ・物価の上昇に伴い、社員の給料を引き上げることも考えていかなければと思う。 ・鋼材は更に値上がりしそうな状況である。
三重県	・鋼材の影響から建方納期が不透明物件になって生産に影響してきています。 ・中小規模案件が極端に少ない。Mグレードファブ以下は仕事量が少ないのでは。 ・加工単価交渉が益々厳しい状況。材料価格の高騰が今後も続く見込みだがいつ落ち着くのか不透明。

< 全構協近畿支部 > 状 況 報 告 書

2021年(令和3年11月分)

提出日 令和3年12月7日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	近畿支部活動・行事等
滋賀県	・11/6 滋賀けんせつみらいフェスタ出展 ・11/10 理事会、認定工場部会、賛助会員PR	<<近畿移動支部会>> 11月4日(木)～5日(金) 三重県 花水木
京都府	・11/11 50周年事業準備委員会 12名 ・11/26 中支部会 ・11/29 工場サポート 2社	
大阪府	11/3,4,5UT実技講習会 11/8,9,10,19 令和2年度後期延期分、3年度前期延期分、中間期分工場審査(計4社) 11/4,16 工場パトロール 11/11 第3回運営共済事業委員会 11/19 第3回技術委員会 11/26 四支部合同支部会	
兵庫県	・11/9 四役会 ・11/26～27 移動理事会(豊岡)	
奈良県	・11/16 工場認定1社(延期分) ・11/25、26 特化則技能講習会 ・11/26 三役会	
和歌山県	・11/1 性能評価 工場審査 1社	

(B)

①受注物件件数(ヵ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
滋賀県	7～14	4～8	1～4	60～100		○				
京都府	7～12	3～7	1～4	60～120		○				
大阪府	6～13	2～4	1～3	60～100		○				
兵庫県	10～12	2～4	1～3	～		○				
奈良県	～	2～6	1～4	～		○				
和歌山県	10～14	1～6	1～3	60～100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
滋賀県	鋼材価格は値下がり期待は皆無。今後1段階UPの傾向。来年・再来年と現状価格は維持されるものと考えて良い。ただ鋼材確保は更に厳しさを増すが2023年に向け物件は増加する傾向の為、いかに確保していくかが課題になる。指示単価が安価な加工費状況ならば今後の販管費の上昇も考え出来るだけ値上げの意向を示して受注をするべきと考える。
京都府	価格、材料の入手状況は先月同様厳しい状況。それに加えメッキ副資材の値上げ要求が増えています。それに反し鉄骨市況は厳しい為受注に影響が出ています。仕事量は増えてきましたが、加工単価はまだ上がってきません。夏以降の動きがまだ不透明です。引合い、見積案件は共に減っている。鋼材、副資材の値上げが今後も懸念材料のため落ち着くまでは受注環境は不透明感が続くのでは。製品不足で金額と工期の約束が出来ない。先行き非常に不安定。建築工事が全体に少ない。鉄骨は見積してもほぼ決まっていない。金物系は2月頃までありそうです。
大阪府	小・中型物件の動きは悪く物件量も少ない。鋼材単価は高止まりしており、先月同様値上りは止まる事が無く、さらに入手難や納期遅れは続いている。来年度に向かって物件量は出ているが、受注格差は続く模様。
兵庫県	先月同様に鋼材・副資材の入手難が継続している。スクラップも高値止まり、石油関連も値上げで全てと言っていいほど仕入れ関係が高騰している状態である。デッキPLは一時のことを思うと少し落ち着いた模様。来春以降はまとまった規模の物件があるとの情報もあり、好転することを願うばかりである。
奈良県	・先月と同じく、鋼材の価格高騰で先が見えない状況。来年の物件が不安で、取れない現状。 ・材料の入手に関して、引き続いて懸念している。また、納期遅れ予想される恐れも有り。 ・来年の物件が増えてはいるものの、単価が上がらない状況です。
和歌山県	鋼材の価格は高値安定、手配難および入手難は相変わらずである。来年稼働してくる現場に影響して来そうで心配である。

< 全構協近畿支部 > 状 況 報 告 書

2021年(令和3年12月分)

提出日 令和4年1月11日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	近畿支部活動・行事等
滋賀県		(近畿事務局長会) 近畿事務局移動会 12月3日(金)～4日(土) 1泊2日 北陸方面 (近畿支部鉄構交流会) 第1回 鉄構交流会 12月17日(金) 14:00～16:00 鉄鋼会館 11F
京都府	・12/1 溶接競技会主催者会議 ・12/4青年部会忘年会 ・12/7 西支部会 ・12/14 理事会 ・12/21認定サポーター会議	
大阪府	・12/8 第4回定例理事会 ・12/16 南大阪支部会 ・12/10、12/17 工場ハローール ・12/23 北大阪支部会	
兵庫県	・12/9 運営委員会 ・12/10 教育技術委員会 ・12/13～12/14 ヒューム講習会 ・12/15 四役会	
奈良県	12/3 中北和支部会、12/7 南和支部会、12/10 青年部交流会 12/14 三役会／理事会 12/16 共済・経営近代化委員会 12/17 <後期>工場認定Web会議	
和歌山県	・12/6 近代化委員会 ・12/17 評価会議(ZOOM) ・12/21 性能評価にかかる第2回勉強会	

(B)

①受注物件件数(カ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
滋賀県	10 ～ 16	4 ～ 10	1 ～ 4	60 ～ 100	○					
京都府	1 ～ 12	3 ～ 8	1 ～ 3	70 ～ 120			○			
大阪府	6 ～ 13	2 ～ 4	1 ～ 3	60 ～ 100		○				
兵庫県	10 ～ 12	2 ～ 4	1 ～ 3	80 ～ 100		○				
奈良県	～	5 ～ 7	2 ～ 4	60 ～ 100		○				
和歌山県	10 ～ 16	1 ～ 7	1 ～ 3	60 ～ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
滋賀県	鋼材価格は高値だが安定してきた。もう1段値上がりは含みつつも昨年の急激な高騰は収まる見込みで見積もりへの反映はし易くなる。しかしながら切板在庫・BCP・HTBの不足は昨年同様に深刻で今後更に不足が予想される。デッキPLの確保なども気を付けたい。今後物件量は増加傾向にある為、契約価格も値崩れ無いに臨んで行くべき。
京都府	鋼材価格の高騰により逆ザヤとなっている物件も出てきている。ゼネコンさんもしかりの為競争激化、指値厳しくなっています。来年の夏ごろまでの仕事は確保できていますが、鋼材価格の推移と夏以降の仕事について見通しがたっていません。年明けの物件はあるものの春先に向けての話が未定なので不安。いずれも鋼材の高騰で見積りに影響が出ている。今年にもう一度値上げする話が出ているので心配。
大阪府	鋼材市況は高止まりが続き、全般的には入手難や納期の遅延は続いている。一部材料は入手出来ているとの報告もあるが、今後見込まれる需要量からすると不安が続く。今のままではコラムH構造の鉄骨のコスト高で、客離れが起きるのではと不安になる。
兵庫県	先月に続き鋼材の価格はまだまだ高止まり感があるが、納期が少し読めるようになってきた模様。コラムのサイズによってばらつきがあるようだが、少しマシになったように感じられる。新型コロナも感染力の強い新株が現れ今後の影響が懸念される。2022年が良い年になりますように。
奈良県	・今年の春頃まで受注が有りますが、変わらず、鋼材価格が高値で止まっている状況です。 ・働き方改革に於ける、従業員の基本給アップなども、実行して行きたいと考えています。 ・材料納期の件、小規模物件は受注時に気を付けて、大規模物件は段取り・手配に困っています。
和歌山県	鋼材の価格高騰、材料入手難は相変わらず。 大型物件の動きはあるが、中小の物件が少ない。 県内の受注状況も偏りが見えるので、組合内で上手く情報交換ができればと考える。

< 中国支部 > 状況報告書

2021年(令和3年) 11月分

(A)

提出日 2021年(令和3年) 12月9日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等		中国支部活動・行事等	
鳥取県	3 日(水)	第33回 秋の合同懇親ゴルフコンペ	9 日(火)	全構協:三役会(東京)
島根県			16 日(火)	全構協:三役会・理事会 青年部会ブロック長 との意見交換会 懇親会(東京)
岡山県			25 日(木)	中国支部会・忘年会(岡山市) (米森会長・山本副会長・ 小貴専務理事 ご臨席)
広島県	2 日(火)	鋼材動向アピール動画作成検討会(リモート)		
	19 日(木)	建築学会中国支部 鉄骨製作部会(リモート)		
山口県	11.12 日	特定化学物質四アルキル鉛等作業主任者技能講習		
	30 日(火)	(青年部会)役員会		

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
鳥取県	4 ~ 12	3 ~ 5	1 ~ 3	80 ~ 100		○				
島根県	4 ~ 5	1 ~ 3	0.5 ~ 2	30 ~ 80			○			
岡山県	10 ~ 13	2 ~ 7	2 ~ 6	80 ~ 100			○			
広島県	6 ~ 13	3 ~ 13	1 ~ 6	30 ~ 100		○				
山口県	3 ~ 4	1 ~ 3	1 ~ 4	70 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
鳥取県	状況は先月と変わりません。鋼材の納期がかかるので発注ミス・加工ミスの無いように要注意が要求されます。見積もりもR・Mグレードの物は少なくなっていますが大型物件は有るようですのでファブ間の協力がいっそう求められると思われます。
島根県	全般に、物件数は少ないながらも12月から年明け2月頃までは、何とか例年並みの仕事量確保は見込める模様です。徐々に引合い・見積もりが出ており期待感を持てていますが、都市部と地方との格差は否めません。鋼材の入手難並びに価格上昇も更に続く模様で、受注活動が難しい状況に変わりは無く、採算面に於いても非常に厳しい状況が続く見通しである。鋼材の安定供給に向けて、業界全体として引き続きメーカー各社に強く要望を発信して頂きたい
岡山県	年度末に向けて各社とも繁忙な様子であるが、その積み上げ量は年度を超える量ではない状況である。都心を中心に仕事を行うHグレードは別として、地場で仕事をするMグレード以下は先の見えない状況にある。一部の会社には既に工事が枯渇しかけており、価格維持の観点からすると厳しい状況になりつつある。また、特殊な鋼材やボルト類の調達状況は依然厳しく、同時に価格面も不安な状況が続いている。コロナウイルス感染症拡大の影響により様々な問題を抱える今、この様な状況が続けばここまで維持してきた穏やかな同業社間の関係維持が困難な状況となる可能性すらある事をしっかり理解する必要がある。
広島県	今月は、Hグレードで稼働率100%の回答企業が皆無なこともあり、稼働率100%の回答企業が約50%、70~90%の回答企業が約40%となり、全体として稼働率は伸び悩んでいる。手持ち工事量では、Hグレードは6~13か月を確保するほか、回答企業の60%が5か月以上となっており、全体的に増加基調。中でも、複数のファブで小規模物件を多数抱えているとの報告があり、中小物件が薄いといわれる中で注目すべき現象。見積りについては、M以上は「多い・普通」の回答が60%、R以下は「少ない」の回答が70%で、グレード間格差が生じている様子。鋼材の価格上昇と長納期化の進展に対しては、鋼材費の圧迫による利益減少に苦しみながらも、早期発注等による対応努力が窺われる。一方で、材料支給や応援工事に当分の活路を求めるファブも依然として多い。到来する需要回復期を前に、工事発注者、さらにはGCや設計事務所等に対し、材料の長納期化や価格上昇等の現状について理解が得られるよう、積極的な情報発信を行っていく必要がある。
山口県	Hグレードでは、先月同様95%程の加工率だが、年明けから若干手持ち工事が減ってくるため加工率が下がるだろうと話す。見積りは増えてきたが、かなり先の物件が多く、参考見積りの割合が増えている。鋼材の単価・納期が落ち着いた状況が来年も続きそうのため、見積りも難しく懸念材料が多い。M・Rグレードでは、工期のずれにより手一杯と話すファブもいるが、多くのファブが改修工事や小規模物件で年内の稼働率を確保している。来年の受注残が少なくなる中、見積りがかなり少なくなってきたり来年度の案件情報も少ないため、仕事の確保に苦労しそうだという。鋼材、ボルト、デッキの手配難と鋼材費等の高騰による製作単価が厳しい状況が続いている。

< 中国支部 > 状況報告書

2021年(令和3年) 12月分

(A)

提出日 2022年(令和4年) 1月7日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等		中国支部活動・行事等	
鳥取県	9 日(木) 13 日(月) 23 日(木) 24・25日	東部支部例会 理事役員会・青年部会例会 組合員・青年部会合同懇親会 県土整備部・東部建設業協会陳情 年末安全パトロール	8 日(水) 17 日(金)	全鉄評:鉄骨製作工場 性能評価委員会(リモート) 全構協:三役会(東京)
島根県	2 日(木) 15 日(水) 16 日(木)	役員会(出雲市) 青年部役員会(浜田市) 工場審査サポート 1社(邑南町)		
岡山県	2 日(木)	理事会・忘年会(岡山市)		
広島県	3 日(金) 15 日(水) 18 日(土)	三役会・理事会 青年部幹事会(リモート) ダイヘンD-arc実演体験会		
山口県	4 日(金)	第4回理事会・懇親会		

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
鳥取県	5 ~ 12	2 ~ 6	1 ~ 2	80 ~ 100		○				
島根県	2 ~ 3	2 ~ 5	1 ~ 2	40 ~ 80			○			
岡山県	10 ~ 14	2 ~ 8	2 ~ 6	80 ~ 100			○			
広島県	11 ~ 13	4 ~ 10	2 ~ 6	60 ~ 120		○				
山口県	2 ~ 3	1.5 ~ 4	2 ~ 3	70 ~ 100		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
鳥取県	Hグレードは来年末くらい70~80%確保しているが鋼材の納期がかかり単価も上がっていてコストダウンの改善が必要となっている。Mグレード以下も来春までは見通しの立っている所が多いようだがまだ格差が見られるようだ。そのため工事価格が下がって安値受注も見受けられるが、鋼材価格が上がっているのので巻き込まれないように情報を密にして頑張っていきたい。
島根県	全般に、物件数は少ないながらも年度末あたりまでは、何とか仕事量確保は見込める様になってきた。徐々に引合い・見積もりが出ており期待感はある状況となっておりますが、依然として都市部と地方との格差は否めません。鋼材の入手難並びに価格上昇も更に続く模様で、受注活動が難しい状況に変わりは無く、採算面に於いても非常に厳しい状況が続く見通しである。鋼材価格の上昇・入手難という難局を乗りきるためにも、業界全体として行政、建設業界に強く要望を発信して参りたいものです。
岡山県	年度末に向けて各社ともそれなりに繁忙な状況が続いている様子である。只、積上量は厳しく、都心で仕事を行うHグレード以外では春先以降仕事の枯渇が見えてきている。また、この状況に拍車をかけるのが材料の供給不足であり、春以降の工場運営をより一層難しくしている。結果地方に於いては価格維持が困難となり、苛烈なダンピングが始まる事が予見される。我々としてはこのような事にならない様しっかり地方を固めていく義務があるが、この点に関する対策をしっかりと中央でも実施していただきたいと考える。
広島県	今月は、Hグレードがいずれも稼働率100%以上、稼働率100%以上の企業が50%を上回り、1社を除きすべて80%以上の稼働率となり上位グレードから順に繁忙期を迎えつつあるようだ。手持ち工事量でも、Hグレードは11~13か月を確保するほか、回答企業の約80%が4か月以上となっており、全体的に顕著な増加基調。見積については、「普通」の回答と「少ない」の回答がそれぞれ半々で、「多い」の回答はごくわずか。未だ件数増加の感触には至っていない。鋼材の価格上昇と長納期化の進展に対し、鋼材費の圧迫による利益減少を食い止める早期発注等の努力や、GC側からようやく鋼材の価格と工期への一定の配慮が見え始めたとの報告が上がってきている。引き続き、工事発注者、さらにはGCや設計事務所等に対し、材料の長納期化や価格上昇等の現状について理解が得られるよう、積極的な情報発信を行っていく必要がある。
山口県	Hグレードでは、年内納期の物件に追われてほぼ100%の稼働率となっているが、今後、3・4月が量的に少ないため、稼働率が下がるだろうと話す。見積は、かなり引き合いが出ている様子。納期が先の工事のためすぐの受注には至らないものの、来年末頃からの物件はある程度受注できる見込みとなっている。M・Rグレードでは、小規模物件や改修工事等で現状は忙しいが、見積と受注残は少なくなっていると話す。材料は一時期よりは入手し易くなり、価格の上昇も緩やかになったと感じるが、鋼材・ボルト・消耗品の値上がり収益を圧迫している。今後もこの状況が続くそうなので、鋼材単価と納期の心配が排除できない。

< 四国支部 > 状 況 報 告 書

2021年(令和3年)11月分

(A)

提出日 令和3年12月12日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	四国支部活動・行事等
徳島県	2日(火) 第8回情報交換会 17日(水) 西部支部会 18日(木) 大日本塗料、ダイニツカとの塗料会議 22日(月) 役員会(三役会) 24日(水) 北部支部会 30日(火) 南部支部会 6日 AW試験準備講習会 20日 AW試験 4日・5日・18日・19日・22日・25日 UT-1・2実技講習会	11月 9日(火) 全構協四国支部会 香川県綾歌郡宇多津町浜6 ホテルアネシス瀬戸大橋
香川県	4日(木) 中讃支部会 8日(月) 性能評価後期工場審査サポート	
愛媛県	2日(火) 理事会	
高知県		

(B)

①受注物件件数(カ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
徳島県	3 ~ 6	3 ~ 4	1 ~ 2	80 ~ 100			○			
香川県	~	2 ~ 4	~	80 ~ 110			○			
愛媛県	3 ~ 13	2 ~ 5	1 ~ 4	80 ~ 100			○			
高知県	5 ~	1 ~ 5	1 ~ 3	80 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
徳島県	11月の物件報告数は、全体で前月比75%と減少。県内工事も前月比83%と減少している。材料費が高騰しているが、受注単価が上がらず厳しい状況になっている。先行き不安。
香川県	仕事量は組合員間の格差はあるがFAB間の協力で全体としては、一定程度の平準化できていると思われる。しかし、鋼材などの高騰・納期の長期化 また、価格面も競争が厳しく今後も予断を許さない状況にある。
愛媛県	納期に近い中小物件での鋼材等の入手難について客先と「納期を確認しながら仕事の受注と鋼材の発注を心掛ける」「材料高騰・不足について客先に周知している」と努力しているが、鋼材の大幅な値上がりにより入手難の理解が進め程、地場小規模物件では躯体がRC造、木造に変更となる流れに繋がるやも
高知県	物件報告数は前月と同じ状況である。受注状況は各社まちまちであるが稼働率は現在各社ともに一定の維持はできているが、今後の仕事量、鋼材価格等不安である。

< 四国支部 > 状 況 報 告 書

2021年(令和3年)12月分

(A)

提出日 令和4年 1月 7日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	四国支部活動・行事等
徳島県	3日(金) 徳島支部会 10日(金) 理事会・第9回情報交換・忘年会 17日(金) 大日本塗料・ダイニツカとの塗料会議 15日・17日・20日・24日 UT-1・2学科講習会	
香川県	1日(水) 第5回理事会 8日(水) 工場審査サポート 15日(水) 工場審査サポート 21日(火) 中讃支部巡回 22日(水) 高松支部巡回 23日(木) 西讃支部巡回	
愛媛県	23日(木) 愛媛県営繕等に鋼材価格高騰への対応の要請	
高知県	2日(木) 親睦コンペ 忘年会	

(B)

①受注物件件数(ヵ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
徳島県	3 ~ 6	2 ~ 4	1 ~ 3	80 ~ 100			○			
香川県	~	2 ~ 3	~	90 ~ 100			○			
愛媛県	3 ~ 12	2 ~ 5	1 ~ 4	70 ~ 100			○			
高知県	5 ~	1 ~ 5	1 ~ 3	80 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
徳島県	12月の物件報告数は前月と同件数である。県内物件は前月の84%と減少している。R・Jグレードとも3月までは仕事量は確保しているが、鋼材と副資材の高騰、工事物件の先細りが心配される。
香川県	県内物件は少ないが県外物件受注により、組合員全体としては県内市場が低迷する中、苦戦しているものの一定程度稼働率を維持している。しかし、鋼材および副資材の高騰は価格に反映されておらず経営面でも厳しい状況にあり、今後についても続くことが予想される。
愛媛県	Hクラスでは来年度の受注分まで決まっているケースが大半、R・J工場でも稼働率は低くとも途切れなく仕事を受注できているが、受注決定から納期までが短いケースが多く、鋼材の手当てが思うように進まないケースが見られる。また、毎月毎月鋼材の値上がりが続くのが見積を難しくしている。
高知県	物件報告数は前月と同じ状況である。受注状況は各社まちまちであるが稼働率は現在各社ともに一定の維持はできているが、今後の仕事量、鋼材価格等不安である。

< 九州支部 > 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 11月分

(A)

提出日 令和3年12月2日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	九州支部活動・行事等
福岡県	・11/4 青年部例会 ・11/15 令和3年度 第1回福岡県建築鉄骨協議会 ・11/26 品質向上パトロール(1工場)	・11/4 第8回支部事務局WEB会議 ・11/19 第9回支部事務局WEB会議
佐賀県	11/4 中央会 情報連絡会議出席 11/11 第5回 定例理事会 11/15 工場審査サポート 11/26 構友会ゴルフ	
長崎県	11/2 建専協 定期総会・研修会、11/8 鉄骨研 現場見学会作業部会①、11/10 第6回講習会WG、11/13 溶接競技会事前講習会、11/18 50周年事業委員会①、11/20 第64回溶接技術競技会参加、11/24 理事会・例会・賛助会員PR会、11/25 鉄骨研 工場見学会作業部会、11/29 長崎県溶接協会 第2回役員会	
熊本県	11/18 理事会・定例会 11/2, 10, 11, 12, 16, 25技術研修安全パトロール	
大分県	11/12Hクレートパトロール同行 11/20全青会九プロ合同研修会MOT講座 11/24 三役会・理事会・認定部会(対面にて開催)	
宮崎県	11/4・5 特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習開催 11/24 中央会研修セミナーWEB参加 11/26 青年部会幹事会及び忘年会開催 11/28 自民党県連セミナー 参加	
鹿児島県	11/4鋼材等納入状況説明(県建築課) 11/9納入状況説明(鹿児島市建設局) 11/10納入状況説明(建築士事務所協会)・青年部会打合せ(web) 11/18納入 状況説明(建築構造設計事務所協会) 11/26全体会議「溶接ヒューム濃度測 定」・懇親会	
沖縄県	・11/2:定例理事会、9日:アマダ担当者同行で組合企業を訪問、16日:営業部会、 22日:理事長同行で組合ファブ訪問	

(B)

①受注物件件数(カ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
福岡県	3 ~ 10	2 ~ 5	1 ~ 2	70~100		○				
佐賀県	5	2 ~ 6	1 ~ 3	50~100		○				
長崎県	4 ~ 7	4 ~ 6	—	80~100		○				
熊本県	7 ~ 8	3 ~ 7	2 ~ 3	93.3			○			
大分県	10 ~ 12	3 ~ 5	—	80~100		○				
宮崎県	7 ~ 12	1 ~ 6	1 ~ 2	80~120			○			
鹿児島県	6 ~ 15	2 ~ 9	1 ~ 2	60~100			○			
沖縄県	2 ~ 3	1 ~ 2	2	90~100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
福岡県	・仕事量にバラつきがあるものの来年以降の大型物件の見通しが出始める一方で、鋼材価格や副資材等の高騰が工場加工費を圧迫している。
佐賀県	・鋼材価格の高騰により、見積時と受注時の単価に大きな差があり、利益確保が厳しい。 ・材料価格、納期共先行きが不透明であり、厳しい状況である。
長崎県	・見積り件数は増加傾向。鋼材価格の高騰に予算が厳しく契約金額が低い。 ・年末に向けては半数近くのファブが100%稼働状態。 ・年明けの物件数は9・10月ごろまでは出てきている。価格交渉は、鋼材の価格に注意しながら頑張らなければならない。
熊本県	指値が厳しくなってきた。(材料が高くなってきたにもかかわらず…) 商社の動きが顕著になってきた。材料の入手困難により見積物件が減ってきた。
大分県	◎2022年の秋から2023年にかけて大型物件が増えた。相変わらず材料が高い。BCPの材料が1年以上かかる。◎見積は多い。電炉材は高止まりにある。コラム材が入荷にくい。◎鋼材単価の見通しが難しい。◎引合は多い。鋼材価格の上昇によるエンドユーザーの買い控えが懸念される。
宮崎県	・鋼材の入手難による工期遅延が深刻化してきた。 ・先月に続き、見積依頼、持施工事量、稼働率、加工費のいずれも低調にある。鋼材価格の高騰や長納期化にも改善が見られず先行き不透明。
鹿児島県	鋼材の高騰が止まらず、遅れている受注物件の材料費にしわ寄せが来ている。相変わらず材料納期も数カ月単位で、対応に疲労困憊。
沖縄県	・鋼材、ボルト等の入荷遅れが長期化し受注難が続いている。

< 九州支部 > 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 12月分

(A)

提出日 令和4年1月6日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	九州支部活動・行事等
福岡県	・12/7 理事会、全体会議、説明会、忘年懇親会 ・12/9～17(3日間) 品質向上パトロール(5工場)	・12/2 九州支部H部会 熊本市にて開催 (役員会、パトロール委員会、例会、忘年懇親会) ・12/23 第5回支部理事会(対面・WEB併用) ・12/28 第10回支部事務局WEB会議
佐賀県	12/10 全体協議会・「フィットテスト」の説明会 12/24 審査サポート 2社	
長崎県	12/4 青年部第3回役員会・例会、12/10 鉄骨研究会 第2回工場見学会作業部会、12/13・14・15・17工場審査サポート、12/21 第7回講習会WG、12/22 鉄骨研究会 第3回専門委員会、12/23 建専協・県知事への陳情活動	
熊本県	12/4 青年部幹事会・忘年会 12/9 鉄骨問題協議会 12/14 理事会 12/10、17、22、28 認定サポート部会	
大分県	12/8、9超音波探傷器Gタイプ操作・探傷手順指導 12/10工場審査事前打合せ 12/14青年部役員会、三役会、理事会、溶接ヒューム防塵マスク説明会、全員協議会、懇親会	
宮崎県	12/8 中央会事務局連絡協議会・研修会 出席 12/14 50周年事業WG開催	
鹿児島県	12/3青年部会全体会議「D-Arcリモート技術懇談会」・忘年会 12/17共済定例会議	
沖縄県	・12/17:定例理事会及び懇親会、20日:全構協会長・小貫専務理事との意見交換会、21日:営業部会・青年部会	

(B)

①受注物件件数(ヵ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
福岡県	4 ~ 12	2 ~ 6	1 ~ 2	70~100		○				
佐賀県	6	2 ~ 7	1 ~ 3	80~100			○			
長崎県	3 ~ 8	3 ~ 7	—	90~100		○				
熊本県	7 ~ 8	3 ~ 7	2	91.4			○			
大分県	10 ~ 12	4 ~ 5	—	80~100		○				
宮崎県	6~11	2~5	1~3	70~100			○			
鹿児島県	5 ~ 15	1 ~ 9	0.5 ~ 2	50~100			○			
沖縄県	2 ~ 3	0.5 ~ 2	1	60~100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
福岡県	・今後、かなりの仕事量が出る事が予想されるが、鋼材や消耗品等の価格高騰及び納期問題が懸念される。
佐賀県	・見積件数が少なく4月以降の仕事量が不透明。鋼材の納期長期化により、工場生産の工程が組めない。 ・鋼材価格が上昇しているが、受注価格に上昇した分が転嫁出来てなく利益確保が厳しい。
長崎県	・見積り件数は増加傾向。現在見積中の物件は3月頃にはFABが決定していくと思われる。 ・今年の半ば頃までは半数以上のFABが仕事量がある状態。 ・鋼材は高止まりにある。
熊本県	指値が厳しくなってきた。(材料が高くなってきたにもかかわらず…) 商社の動きが顕著になってきた。材料の入手困難により見積物件が減ってきた。
大分県	◎プラント工事は見積も含めて継続的にあるが一般物件は見積が減ってきたように感じる。来年、鋼材単価は落ち着くとは思いますがm たコロナの影響がどう出るか。◎材料は、まだ上がりそうで、加工単価に影響が出そう。
宮崎県	・グレードや地域により手持工事量、見積件数に偏りがある。 ・鋼材価格の高騰や納期が問題となり、価格交渉は難航している。この状況が続けばRC造等への構造変更が増えるのではないかと危惧している。
鹿児島県	原油価格、鋼材価格上昇の影響がいろいろと出て来ている。材料の納期が間に合わない物件が幾つかあり苦労している。
沖縄県	・引合い物件は概算見積が多く、即、受注に繋がる物件は少ない。鋼材等の入荷遅れ等により、工場稼働率に大きなばらつきが出ている。